

平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
第6回スポーツ部会議事録

1 日時：平成27年10月23日（金）10：00～16：00

2 場所：千葉市中央コミュニティセンター5階 講習室1

3 出席者：

(1) 委員

横山 清亮委員（部会長）、織戸 正道委員（副部会長）、
内山 英昭委員、小川 直哉委員、谷藤 千香委員

(2) 事務局

丸島生活文化スポーツ部長
山根市民総務課長、佐久間市民総務課長補佐、宮本主査、石垣主事、山本主事
安藤スポーツ振興課長、山崎スポーツ振興課長補佐、菅野主査、岡崎主事

4 議題：

- (1) 千葉市こてはし温水プール指定管理予定候補者の選定について
- (2) 今後の予定について
- (3) その他

5 議事概要：

(1) 千葉市こてはし温水プール指定管理予定候補者の選定について

まず、応募があった団体について、事務局において第1次審査における審査項目を審査した結果、応募資格の各要件を満たしていること、また失格事由に該当していないことを報告した。

次に、各応募者へのヒアリングを実施し、採点、意見交換を経て、指定管理予定候補者とすべき者を「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」、第2順位を「シミズ・シンコー共同事業体」、第3順位を「フクシ・ハリマ共同事業体」として選定することを決定した。

(2) 今後の予定について

議事録の公開及び今後の流れについて、事務局から説明した。

(3) その他

委員からの質問等を受け付けた。

6 会議経過：

○佐久間市民総務課長補佐 それでは、ただいまから平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第6回スポーツ部会を開会させていただきます。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中、たびたびお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本日の司会を務めさせていただきます市民総務課の佐久間でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日の会議でございますが、「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」に定めます非公開事項に該当することから、全て非公開となります。

また、本日は地球温暖化防止の取組みの一環といたしまして、職員は軽装とさせていただきます。

続きまして、委員の方のご紹介でございますが、お手元の水色のフラットファイルの中の資料2「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会委員名簿」をもちましてご紹介にかえさせていただきます。

続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきます。

生活文化スポーツ部長の丸島でございます。

千葉市こてはし温水プールを所管いたします、スポーツ振興課長の安藤でございます。

市民総務課長の山根でございます。

以上でございます。

それでは、開会に当たりまして、生活文化スポーツ部長の丸島からご挨拶を申し上げます。

○丸島生活文化スポーツ部長 皆様方、おはようございます。

今回、今週2回目ということで、大変お忙しい中、恐縮でございますけど、よろしくお願いいたします。

前は「スポーツ施設等」ということで2者でしたが、今回は「こてはし温水プール」で4者、しかも全て共同事業体ということで、会社数が大変多くなっております。委員の皆様方には資料が多くて大変恐縮でございますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

なお、スポーツ部会、今回で一応最後ということになりますので、6回にわたって長い間、恐縮でございますが、よろしくお願ひいたします。

○佐久間市民総務課長補佐 それでは、議事に入ります前に、資料の確認を改めてさせていただきます。

まず、ファイルに綴じていません資料で、お手元に「次第」と「座席表」がご用意してございます。このほか、ファイルの資料が全部で7分冊となっております。まず、先ほどもお覧いただきました、こちらの水色のフラットファイル、こちらをお覧ください。

まず、こちらの水色のフラットファイルは、資料1が「第6回スポーツ部会進行表」になります。進行の時間のスケジュールが変更になりまして、お手元に差し替え資料をご用意させていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。資料2が「スポーツ部会委員名簿」、資料3が「スポーツ部会で審議する公の施設一覧」、資料4は、千葉市こてはし温水プールに関する資料で、4-1が「応募者一覧」、4-2が「形式的要件審査結果一覧」、

こちらの一部照会中でしたが、審査が終了しましたので差し替え資料をご用意してございます。4-3が「選定基準」、そして4-4は「採点表」でございますが、こちらはA3で別途、単票でお手元にご用意してございます。資料5が「今後の予定について」でございます。

続きまして、緑色のフラットファイル、こちらは参考資料になっております。参考資料1が「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」、参考資料2が「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」、参考資料3が「部会の設置について」、参考資料4-1が「千葉市こてはし温水プール指定管理者募集要項」、参考資料4-2「千葉市こてはし温水プール指定管理者管理運営の基準」、参考資料4-3が「千葉市スポーツ施設設置管理条例及び管理規則」でございます。

続きまして、厚いこちら、青色のパイプファイルをお願いいたします。こちらは、応募者が4者ございますが、4者分の指定申請書関係書類を1冊にまとめたものでございます。

最後に、提案書でございまして、こちらは4者ございますが、それぞれ4者分が別冊で用意してございます。

よろしいでしょうか。

(なし)

○佐久間市民総務課長補佐　それでは、続きまして、会議の成立についてご報告させていただきます。

本日は、全ての委員さんにご出席いただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第7項において準用いたします第10条第2項に基づきまして会議は成立しております。

それでは、これからの議事につきましては、進行を横山部会長さんをお願いしたいと存じますので、よろしくお願いいたします。

○部会長　それでは、次第に従いまして議事を進行してまいります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

議題1の「千葉市こてはし温水プール指定管理予定候補者の選定について」に入ります。

施設所管課よりご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長　スポーツ振興課の安藤でございます。座って説明させていただきます。

それでは、公募開始から第1次審査までの経過及び応募状況についてご説明をいたします。

最初に、前回の部会後から本日までの応募の経過についてご説明いたします。参考資料の4-1をお願いしたいと思います。4-1の3ページでございます。公募の概要の「(4) 選定の手順」でございます。こちらの表のほうをご覧くださいなのですが、まず1番目、「募集要項等の公表・配布」、こちらを7月27日から行いました。2番目として、「募集要項に関する説明会」を7月31日に、「募集要項等に関する質問の受付」を8月3日から7日まで、「募集要項等に関する質問の回答」を8月21日に行いました。「指定申請書の提出期間」は8月31日から9月4日までの間でございまして、4団体から応募があった

ところでございます。その後、形式的要件審査を行いまして、9月11日に形式的要件審査の結果を通知してございます。

続きまして、今回応募のあった4団体につきましてご説明をいたします。

配付資料4-1のほうをお願いしたいと思います。配付資料の4-1でございます。4番目でございます。最初に、「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」でございます。こちらは、株式会社コナミスポーツ&ライフ、日本メックス株式会社の2社で構成される共同事業体でございます。続きまして、「フクシ・ハリマ共同事業体」でございますが、株式会社フクシ・エンタープライズ、株式会社ハリマビシステムの2社で構成される共同事業体でございます。続きまして、「シミズ・シンコー共同事業体」でございます。こちらは株式会社シミズオクト、株式会社シミズサービス千葉、シンコースポーツ株式会社の3社で構成される共同事業体でございます。最後に、「こてはし温水プールコミュニティーズ」でございます。一般財団法人千葉県まちづくり公社、ミズノスポーツサービス株式会社、株式会社オーエンスの3社で構成される共同事業体でございます。

続きまして、事務局で行いました資格要件及び失格事由等の第1次審査であります、形式的要件審査についてご報告をさせていただきます。資料4-2でございます。「形式的要件審査（第1次審査）結果一覧」をご覧いただきたいと思っております。こちらのほうですね、応募資格の各要件、全ての項目におきまして応募要件を満たしておりまして、失格事由にも該当しないということを確認しております。公募開始から第1次審査までの経過につきましては以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

○スポーツ振興課 すみません。報告いたします。前回もご説明させていただいたんですが、コナミスポーツ&ライフにつきましては10月1日付で会社名が変更になっておりまして、コナミスポーツクラブとなっておりますので、よろしく願いいたします。

○委員 名称以外は変わってないということですね。

○スポーツ振興課 そうですね。名称以外は変わってないです。

○部会長 ただいまのご説明につきまして、何かご質問ございますでしょうか。

(なし)

○部会長 では、審査に入りたいと思っております。

まず、「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」について審査いたします。

初めに、あらかじめ施設所管課で採点した審査項目についてご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは、「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」の採点結果について報告させていただきます。

資料の4-4でございます。机上のほうに「採点表」という形で配付されております。こちらの採点表をご覧いただきたいと思っておりますが、まず、「2(1)同種の施設の管理実績」でございます。こちらは5点と採点してございます。構成員において同規模（プールやトレーニング室、諸室を含む）の複合施設の管理実績があることを提案書で確認してございます。次に、下のほうにいきまして「5(2)管理経費（指定管理料）」でございますが、20点と採点してございます。基準額に対する削減率から加算点を8点とし、基礎点の1

2点と合計して算出してあります。次に、「6（1）市内産業の振興」でございますが、こちらは2点と採点してございます。代表企業、構成員ともに準市内業者であることを申請書類で確認してございます。次に、「（3）市内雇用への配慮」でございますが、3点と採点してございます。施設従事者の市内在住率が84名中81名で、割合が96.4%であることを提案書で確認しております。次、「（4）障害者雇用の確保」でございますが、1点と採点してございます。法定雇用率未達成でございますが、新規雇用の予定があることを提案書で確認してございます。「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」の提案内容審査、第2次審査の一部審査項目の採点結果については以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

ただいまのご説明につきまして、何かご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

（なし）

○部会長 では、「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」のヒアリングを行いたいと思いますが、その前に、経営及び財務状況について、公認会計士でいらっしゃる織戸委員より、計算書類等を基にご説明いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

（※経営及び財務状況に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7号第3号に該当する情報（法人等情報）が含まれているため、表示していません。）

○部会長 結論としての全体の実績とかについては特に。

○委員 特にないです。過去数年、特別なことが起こったわけではありませんし、大丈夫だと思います。

○部会長 それでは、これから「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」のヒアリングを行いたいと思います。「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」を入室させてください。

[元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ 入室]

○部会長 どうぞおかけください。

「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」さんですね。では、これからヒアリングを行いたいと思います。前回も申し上げましたが、10分間で本日の出席者のご紹介と提案内容を簡潔にご説明ください。説明が終わりましたら私どもから質問をさせていただきます。では、前回同様よろしくお願ひします。3分前と1分前にこのように示したいと思いますので確認をしてください。それでは、どうぞ。座ったままで結構です。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ では、皆様、こんにちは。元気・ふれあい・夢づくりパートナーズでございます。本日はこのような貴重な場をいただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、早速出席者の紹介をさせていただきます。

代表企業のコナミスポーツ&ライフより、執行役員でございます。よろしくお願ひいたします。

公共事業の企画部門の責任者でございます。

- 元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ よろしくお願ひいたします。
- 元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ 本件の担当でございます。
- 元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ よろしくお願ひいたします。
- 元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ 構成企業の日本メックスから、指定管理事業を担当しております部長でございます。
- 元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ よろしくお願ひします。
- 元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ 担当でございます。
- 元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ よろしくお願ひいたします。
- 元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ では、早速説明に入らせていただきたいと思ひます。説明のほうは当社、担当のほうからさせていただきます。では、よろしくお願ひします。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ よろしくお願ひいたします。

まず、私たちの思ひを込めたお手元の提案書はご覧いただけましたでしょうか。本日は時間も限られていることから、記載内容の中から特にお伝えしたいことを抜粋してご説明させていただきます。

では早速、提案書の1ページ目をお開きください。まずはグループの紹介です。ページ中央のほうにありますように、代表企業のコナミスポーツ&ライフは、全国377のスポーツ施設を運営する健康サービス業界のリーディングカンパニーです。市内では都賀、稲毛でスポーツ施設を運営しており、市民の健康づくりを支えています。

構成企業の日本メックスは、維持管理のスペシャリストとして全国150拠点、約1,600名の人材と実績を有しており、千葉市内ではフクダ電子アリーナの指定管理者として市内産業の振興に貢献しています。

利用開始から15年が経過し、今後、経年劣化が課題となる本施設では、運営会社はもちろん、専門的な維持管理会社が指定管理者として施設の管理運営に携わることが重要です。私たちは、そのような運営、維持管理の専門企業2社が集結した共同事業体です。

千葉市スポーツ振興計画にある元気にふれあいを深め、夢あふれるスポーツ都市を実現したいという思ひのもと、「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」と名づけました。

また、指定管理料は専門企業2社による実績に基づく積算、現状課題解決へのアプローチによる収入の増加と経費の縮減により、上限価格より5年間で1億7,800万円を縮減する計画としています。

ページ右下の図をご覧ください。私たちは、本施設の管理運営に当たり、三つの取り組みを行いました。施設利用による現状を知る取り組み、市の施策の理解による市と目線を合わせる取り組み、事前アンケートによる市民の声に耳を傾ける取り組み、この三つの取り組みにより、千葉市のニーズを捉えた事業計画を策定しています。

1枚めくっていただき、2ページ目をお開きください。前述の三つの取り組みにより導き出した運営理念は、緑色の大きな文字で記載しています「改革」と「前進」です。まだまだ可能性がある本施設を改革し、市民のために前進していきたい、そんな思ひを提案書

に反映しました。具体的な提案内容については、事業展開、安全管理、施設整備の三つに分けてご説明します。

まず、事業展開についてです。中央の基本方針、一番左上の写真にありますように、私たちは年代や性別、ニーズに応じた豊富な運動教室を開催し、現状を改革します。プールや多目的室だけでなく、これまで稼働率が低かったホールや研修室への事業を強化し、子どもから高齢者、初心者から上級者まで幅広い年代に運動の機会を提供します。また、コナミスポーツクラブ都賀、稲毛において1週間で50本以上も開催されている人気の運動プログラム、レスミルズプログラムの開催や新たにトレーニング室へ職員を配置するなど、効果的な事業の展開で施設を改革していきます。

さらに、ページの左下をご覧ください。施設の場所は知っているが駅から遠くて行ったことはない、これはアンケートに記載してあった市民の声です。私たちは、施設専用バスを運行し、稲毛駅をはじめとした周辺の駅と施設をつなぎます。子どもから高齢者、障害者まで気軽に通える施設にしたい、そんな思いが詰まった提案です。

次に、安全管理についてです。9ページをお開きください。本施設は、スライダー、子どもプール、流水プールなどを有しているため、安全管理体制の構築は必要不可欠です。下の図にあるような、死角のない万全なプール監視体制を構築することはもちろん、休館日には緊急時対応研修を実施します。流水プールで子どもが溺れているといった具体的な想定をした訓練を実施することで、緊急事態に迅速かつ的確に対応できる職員を配置できます。代表企業はスイミングスクールから創業し、40年以上にわたってプールを運営してきた業界を牽引する企業です。また、静岡県湖西市では流水プールやスライダーを備えた本施設と同規模の施設を運営しており、私たちの安全な運営が高く評価され、先日、第2期目の指定管理者として引き続き選定いただきました。このような実績とノウハウに加え、都賀、稲毛、フクダ電子アリーナなどの近隣で施設を運営している私たちは、既に本施設のフォロー体制が確立されている唯一の事業者と言えます。

次に、施設整備についてです。30ページをお開きください。私たちは、快適な施設環境を整備するため、さまざまな取り組みを行います。まず、左上の写真にあるように、トレーニングマシンは誰でも簡単に利用できる機器に新たに更新し、使いやすい環境を整えます。次に、ページ中央にある写真、「LED照明の設置」です。市民アンケートでは、明るく清潔な施設を望んでいる方が全体の7割を占め、施設環境の整備は欠かせないことがわかりました。LEDの設置実績が豊富な日本メックスにより省エネ診断を実施し、全館LEDへ更新します。そのほかにも、ご覧のような、ヘアドライヤーの新規設置、AEDの追加設置、ページ一番下の測定機器の設置や館内案内ブックの作成など、市民の要望を取り入れたきめ細やかな提案で施設を改革します。

最後に、2ページにお戻りください。ページの一番下にありますように、私たちはさまざまな利用促進策や施設環境の整備で、年間の利用者人数を5万人増加させた35万人を実現します。多くの市民に本施設へ足を運んでもらうことで市民の健康増進、コミュニティの形成に貢献します。

私たちには自信があります。市民に認められ、いつまでも愛される施設となるべく、新

たな可能性のために改革し、未来に向かって前進していきます。利用者一人ひとりの意見を聞き入れ、目の前の利用者に真摯に向き合っていく、そうした地道な運営で市民のため、施設のために全力で取り組んでいくことをお約束します。

どうか、「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」をご選定いただきますよう、よろしくをお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

○部会長 ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明にご質問、ご意見ございますでしょうか。

○委員 巡回バスを運行されるということで、これは非常に利用者にとっても、高齢者の方々にとっては非常に便利なものだと思うんですけども、今考えられている運行バスの概略のルートと、あるいは1日何便ぐらいなのか、その辺わかりましたら教えていただきたいところがございます。

もう一つは、市の目標値設定の中で、教室数が市の設定8教室になって、700教室とあるの、これちょっとあまり多過ぎるんじゃないかなと思って、その2点について。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ では、私のほうから答えさせていただきます。

まず、1点目の巡回バスの運行ということで、高齢者の方もそうですけど、やはり夏場、駐車場がもういっぱいという状況を認識しておりますので、やはりアクセスを充実して、改善しなきゃいけないというのが、まずこの施設を管理運営する上で一番重要と思いました。ただ一方で、今、京成バスさんが乗り入れられているという状況も認識しておりますので、むやみに走らせるというわけにもいかないかなというところも認識しておりますので、今考えているのは、稲毛駅からこの施設をつなぐルートで、どのルートを回るのかは他バス会社様と、あとはやはりどこに停留所を置くのかは、やはり地元の方々との打ち合わせが必要と思っておりますが、ルートの詳細はこれから詰めていかなければいけないかなとは思ってはいるんですが。

運行コースについては、やはり週に4日から5日ぐらいは常に運行したいというふうになっております。時間帯については、少しニーズとか、あとは停留所の関係がやっぱり大きいかなと思ってますので、しっかりそれは選考をいただいてから協議をさせていただきたいと思っております。

2点目が、教室の目標数というところで、実は2ページのほうでは19教室を書かせていただいて38ページのほうでは700教室と書かせていただいて、すみません、混乱を招くような記載になっておまして、まず申しわけございません。まず、市からお示しをいただいた8教室という教室の数え方と同じでいくと19教室を目標とし、実施できる数というふうに認識しておりますので、19教室をやることで収支計画は見込んでおります。700教室というのは数の数え方なんですけれど、10回でひとくくりの、10回で5千円で一つの講座というような形でやる場合は、それを掛ける10回、19教室だけで10回、それを年間例えば春、夏、秋、冬、4期やる場合でしたら、さらに掛ける4回というようなカウントの仕方をすると大体700ぐらいになると。ですので、すみません、記載が2か所であえてしまったんですが、そういうような形で考えております。市の目標

と目線を合わせていけば19教室ということで考えております。

○委員 コマ数ということでよろしいんですね。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ そういうことです、はい。

○委員 わかりました。

○部会長 ほかにご質問はいかがでしょうか。

○委員 指定管理料5年で約2億円ですね、1億7,800万円削減されるころは大変立派なことだと思うので、どこをどうしてそういう計算かちょっと教えていただきたい。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ 大きく二つなんですけれど、まずは、収入を伸ばすというところがございます。収支計画書のページでも記載させていただいておりますが、平成26年度の数字から10%程度伸ばす計画をしております。これは実際に我々、マーケットの調査ですとか施設等も利用したりとかいうことも行った上で、まずはいけるだろうということで見込んでおりますが、具体的にはやはり先ほどお話しした巡回バスですとか教室の開催、またトレーニング機器の入れかえですとか、そのようなことをやることで、ほかの施設でも50%ぐらいの増加をやっておりますので、この施設でも間違いなくいけるだろうというところで10%程度の増加を見込んでおります。まずはそれが大きな1点目。

2点目が、経費のほうの削減も当然図っております。どの部分かと申し上げますと、大きなところでは水道光熱費の削減に大きなてこを入れております。

○委員 すみません、それは何ページかに出てるんですか。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ 42ページから44ページあたりですね。すみません。今お話しした収入のことは42ページです。42ページの下欄、平成26年度実績からの伸び率を記載させていただいております。経費の点につきましては44ページに記載させていただいております。

今回、構成企業のほうで建物の劣化診断と省エネルギー診断を指定管理が始まる前にやろうと思っております。そうすることで、やはりこの施設、設備に合った適正な光熱水費の使われ方がしているのかというようにところにてこを入れることで、やはり今の利用状況ですとか利用量、それから光熱水費の実績の額を見させていただくと、類似施設の事例を見ながらも、やはり削減はできるだろうということで、具体的な削減額については約300万円削減というようなことで、あとは年々下がっていくような計画をしておりますので、収入の増加と経費の削減、あわせて指定管理料の削減につなげているというところがございます。

○委員 ちょっとすみません、関連でお尋ねをしますけれど、先ほどおっしゃった巡回バスというのはどこに盛り込まれてるんですか。45ページ、あるいはこちらの様式第26号ですかね。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ 費用の中で申し上げますと、委託費の中に含んでおります。

○委員 何費。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ 委託費です。

○委員 バスの運行委託。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ はい、そうですね。45ページに経費項目に含んだ内容を記載させていただいているんですが、45ページ下のほうに、その中にバスの運行委託。

○委員 それも含めて初年度は、5,132万円支出をしてるということですね。

○委員 実は私も委員と全く同じ質問だったんですが、今のご説明でちょっとわからないところがございまして、まず収入が入ってくる、これ42ページの6,700万円ですね。そして、経費のダウンがLEDの300万円ですか。あとは何がございまして、経費は。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ 大きな費用項目でいくと、恐らくその2点になります。我々のところは平成26年度の実績の数字が開示されておりましたので、それをベースに積算を細かくさせていただいてるんですけど、上限額は恐らくそれよりも高い、平成26年度よりも高いところで設定をされているのかなと思っておりますので、平成26年度の実績と比べると改善額は先ほどの収入額増加と経費の削減と大体8千万円ぐらいになるんですけど、上限額からするともっと下がっていると。ちょっと説明がわかりにくいですね。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ それと、大きいのはやはり劣化診断というのを最初にやりますので、設備の修理費なんかを結構高額に上げておりますけれども、多分修理費なんかも1割以上の削減は可能でございます。これは事前に設備を検査することによって壊れる前に予防保全ということで修理をしていきますと非常に修理がお安くできますので、そういうことを劣化診断を最初にやって修繕費を下げていくと、そういうような施策もやっていっております。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ 少し私なりにわかりやすく申し上げますと、現状の今の運営からは収入とコストの減で年間1千万円ぐらい、5年間にすると5千万円ぐらいの市の財政支出の縮減を図れるかなと。ですけれども、今回設定いただいた委託費の一番高い額から我々の提案を差し引くと、5年間トータルで2億円弱ぐらいという削減の、削減というか、ひらきがあるかなという、端的に言うとそういうご認識をいただければというふうに考えております。

○委員 すみません、さらに関連した質問ですけど、特に水ですね、水光熱費という項目で上がってますけれども、現状としては地下水のくみ上げによっておって、次期もそのような形で踏襲していくことになるんですね。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ そうですね、今の設備の契約が平成33年まで残ってるというふうにご提示いただいておりますので、まずはそれを踏襲する方向で、踏襲をしながら、かつより効率的にやっていかなければいけないと思っておりますので、まずは使う方向で、あとは実際に使ってみてどう効率化できるのかは、選定いただいてから考えていきたいと思っております。

○委員 そうすると、水光熱費では、先ほどおっしゃられた電気を減、そういうことですか。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ　そうですね。

○委員　わかりました。

○部会長　ほかにご質問ございますでしょうか。

委員、何か。

○委員　随分経験が豊富だと思いますが、いろんな施設をされてますけども、この施設の最大の魅力、それと、マイナス面もあるかもしれないんですけども、そこの辺をどういうふうにお考えでしょうか。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ　まず魅力というところでは、やはりこれだけのレジャープールがあって、流れるプールがあって、レジャー要素の高い、かつ、屋内という、つまりやはり一年通して使えるという意味では余り多くない施設かなと思っておりますので、そういう点ではすごく魅力的だなと思っております。

ですので、やはりただ一方で、レジャー的な要素が強い施設ですと夏にはやはり皆さん、プールに行って、仲よくプールで遊んでスライダーで遊んでということで、夏場の利用はすごい増えるんですけど、やっぱり冬場がどうしてもなかなか足が行きにくくなると思うんですよね。実際今回、類似の施設ということで静岡県湖西市の事例をご紹介させていただいたんですけども、やはり我々が指定管理者として入らせていただいて大きく変わったのは、こういうレジャープールの要素が冬の施設、冬場の稼働を上げるということにすごく力を入れて取り組みました。そうすることで年間の利用者数自体が伸び、また年間を通して活性化された施設になるというようなところで今回もぜひ取り組んでいきたいというふうに考えております。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ　こういったレジャープールは、レジャープールのハード面自体に魅力が非常にお子さんも含めて夏場は非常に高くなるというのは、いろんな施設でやってる中で感じました。ただ、公共施設全般に関して、それだけの施設をつくったときにやはりハード面だけの魅力で市民の方に来ていただくというのが、ある段階までいくと上限、天井を見たりもしますので、やはり物というよりは事づくりというか、やはりその施設に行って何ができるかというのが利用者人数を増やす大変な肝かなというふうにやってて感じますので。

その一つの切り口としてバスであったりとか、あとはプログラム、教室の増加であったりとか、そういったところでより多く来ていただくのが王道かなというのが実感するところです。その辺も今回ご提案に含めさせていただいて、施設のいいところと改善すべきところというのは切り分けてご提案をさせていただいていると考えております。

○委員　たくさん施設やられてると、やっぱりその一環というか、それらの施設と同じような運営になる、同じようにうまくいくということでもあるかと思いますが、同じようになってしまうかなというちょっと危惧もあって、この名前とかも「元気・ふれあい・夢」というところを千葉市の計画のところから持ってきていると思うんですけど、千葉市としてちょっと違う何かを入れてますよというのもちよっと期待してるんですけども、その辺はどうでしょうか。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ　まさに、多分私たち、全国の自治体さんで

同じような説明させていただいておりますので、同じ感想を思われているのかなと思う部分もあるんですが、やはり我々からすると一施設一施設全く違うなというのが実は実感を持ってやっているところではございます。ある意味、プールという施設、ハード面で同じだったとしても、やはりその地域に住んでいらっしゃる住民の方々も違いますし、先ほどお話ししたように千葉市、自治体さんの施策が違いますので、同じ施設でもその施設の意味合いというものが違っているというふうに認識をしております。ですので、やはりこういった施設で指定管理者として選定をいただきましたら、最初に公共施設従事者研修というのを施設の職員に全て実施をして、千葉市の施策、この施設の設置目的、この施設の意味合い、求められている役割をまず何よりもスタッフに落とし込みをします。それを理解させた上でこの施設の運営で何をやっていくべきかというのを我々が全国でやっているノウハウを展開していくと。ですので、結果同じような内容になったとしても、やはり向かう先が違っているといいですかね、という意味では、やはり意味合いは違ってくるのかなというふうには感じてるところではございます。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ　そこは非常に意識しているところとして、今回も余熱を利用したプールであったりとか、その施設の意味合いだったりとか、エコという観点で何かイベントを開いたりとか、やっぱり施設施設できちんと状況を把握した上で、培ったノウハウをうまく展開するというのは確かにおっしゃられるようにございますけれども、味つけといたしますか、その辺はきめ細かくやっていきたいと心がけております。その辺はぜひご安心いただければとは思っております。

○委員　「元気・ふれあい・夢」が具体的に何になるんでしょうかという。

○部会長　具体的な施策はということになるんでしょうか。

○委員　はい。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ　まさに方針のところに書かせていただいたのが「元気・ふれあい・夢」に沿って書かせていただいたところでもあるんですが、じゃあそれが本当に「元気」につながるのか、「ふれあい」につながるのか、「夢」につながるのか、それは多分皆様も感じられるところ当然違ってくるとは思いますが、やはり我々のスタンスというんですかね、考え方というか、やっぱり思いというのを今回グループ名にもあらわさせていただいたというところもありますので、そういう考え方を持ってしっかり施設の運営ですとか事業展開をやっていきたいと、そのようにご理解いただければなと思うところではあります。

○部会長　ありがとうございます。

○委員　ちょっと私からもあるんですけども、重複になるかもしれませんが、先ほど、レジャープールもありますというところで、公共施設のアピールというところ、そのプールは難しいかなと思いますけれど、39ページなんか書かれておりますスポーツの振興という側面において、この施設でどんなことをお考えなのか。

さらに、次期の期中にはオリンピックがあるかと思っておりますけれども、オリンピック、どちらかというところを見るスポーツなのかもしよせんけど、そういうものをこれから盛り上げていく必要もあります。千葉市内でも国際競技開催があると思っておりますけど、そういうこと

を意識して、どういうスポーツの振興を図るのかいうのをちょっと具体的に教えていただきたいんですけど。教室をされるというのはわかっておりますけど、そういうことで何かあれば。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ　やはりこういったスポーツ関連の施設を運営していく上で、東京オリンピックというのはすごく意識をすべきところというふうに認識をしております。次の指定期間中には東京オリンピックがあるというところで、ただ、こてはし温水プールという施設については、じゃあ競技スポーツを振興するための施設になり得るかという、多分必ずしもそうではないのかなと。千葉市内にはもっといろんな施設があると思いますし、県内にもたくさんの施設があると思っております。ですので、どちらかというところの施設はそういったオリンピックを契機に、より地域住民の皆様がスポーツですとか健康づくりですとか、そういったスポーツ・レクリエーションを広い意味でのスポーツ、健康づくりに取り組んでいくきっかけですとか契機になるための取り組みをやっていくべきなのかなというふうに思っております。ですので、そういう観点で、どちらかというところ競技スポーツに特化したというよりは、より多くの市民の皆様に使っていただきやすいような施設運営をやっていくというようなことを考えておまして、その他の施設活動、バスの話であったりスポーツ教室の話だったりというふうに運営していかねばなと思っております。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ　当社としてもオリンピック選手を実は大変抱えておまして、体操と水泳で数名いるんですけども、社としてもそういったオリンピックというものの切り札があって、長年取り組んできましたし、また、いろんな外部の協力団体といいますか、そういった形でもオリンピックをイベントに派遣するとか、そういったところの団体も協議を長年重ねて実績を積んできてますので、そういった千葉市様の今後の方向性と合わせて、何かしら事業期間中もご提案はできるかなというふうには考えております。

○部会長　あと2、3分ですね。じゃあ最後に。

○委員　当施設はウォータースライダー、流水プール等、施設としてのおもしろさがあると。ただし、平成11年なので老朽化も見られるということで、先ほどのお話からしても建物維持管理の専門企業であられるメックスさんの役割が非常に高いんじゃないかと思うんですね、にもかかわらず責任割合が67対33、これはどういう形で決められたんでしょうか。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ　まず、その数値に関して言うと、全体の経費の中でそれぞれが負う割合ということでロジカルに数字を分けさせていただきました。全体の施設にかかっている経費のうちの67%を代表企業のほうの担当する運営の業務に関わっている費用。それ以外の部分で維持管理の業務に関わってくる費用が大体33%だということなので責任割合のほうは記載をさせていただいております。

○元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ　どちらかというところ建物ハードの維持管理、それで運営と、まず役割をしっかりと細かく漏れのないように切り分けて、結果的に積み上げたのがそういう割合になったと。ですので、ハード面の重要性ということは重々認識し

ておりますので、経験豊富ということですので、その辺はしっかり点検等も行っていきたいというところは両社で話し合っております。

○部会長 ほかにご質問ございますでしょうか。

(なし)

○部会長 時間になりますので、これで終了させていただきます。ありがとうございます。

[元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ 退室]

○部会長 よろしいでしょうか。

それでは、委員の皆さん、今のヒアリングを踏まえて、採点の前に何か確認しておきたいことがございますでしょうか。

○委員 そうですね、だんだん、いわゆるフィットネスクラブとかその路線のところが出てくるので、何か全部同じになってしまうのはかなり心配だなというふうに思いながら質問した結果も、同じだったんですけど。

○委員 公共施設としてどういうふうに、コナミスポーツクラブが運営するのか。それぞれ考え方変えてやっていただきたいですね。

○委員 提案書の1ページ目に1億7,800万円削減とあるが、どうもその条件が違うように私は思ったんですけど。

○委員 最初にインパクト与えたかったんだ。

○委員 我々も採点においてはね、そこは形式的に採点して、最高の得点に。

○委員 なっちゃうんですね。

○委員 なっちゃうっても別にこの企業が悪いというわけじゃないけど。

○委員 20点もらっちゃったんですね。

○委員 満点になるんじゃないですか。

○委員 ですから、他の企業もこの差を挽回するのが大変。

どうしてもレジャー施設的なもの、教室みたいなものではありませんしね。稼働率の低い多目的ホールとか研修室とか、それをどうされるのかという。

○部会長 特にご意見等なければ、採点に入りたいと思います。

[採点]

○部会長 皆さん、よろしいですか。

それでは、次に「フクシ・ハリマ共同事業体」について審査を行います。

初めに、あらかじめ施設所管課で採点した項目についてご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは、「フクシ・ハリマ共同事業体」の採点結果についてご報告をさせていただきます。お手元に配付の採点表のほうをご覧くださいと思います。まず、「同種の施設の管理実績」ですが、5点でございます。構成する全ての事業者において同規模の複合施設の管理実績があることを確認しています。次に、「管理経費(指定管理料)」でございますが、13点と採点してあります。基準額に対する削減率から加算点を1点とし、基礎点の12点と合計して算出しております。次に、「市内産業の振興」でございますが、2点と採点してあります。代表企業、構成員ともに準市内業者であることを

確認しております。次に、「市内雇用への配慮」ですが、3点でございます。施設従事者の市内在住率が67名中57名で、85.1%であります。次に、「障害者雇用の確保」でございますが、1点と採点しております。法定雇用率は未達成ですが、新規雇用の予定があることを確認しております。

以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。ただいまのご説明につきまして、何かご質問ございますでしょうか。

(なし)

○部会長 では、「フクシ・ハリマ共同事業体」の経営及び財務状況について、公認会計士であります織戸委員より、計算書類等を基にご説明いただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

(※経営及び財務状況に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7号第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○委員 今後も急に撤退するようなことはない会社であると思われまます。

以上です。

○部会長 それでは、これから「フクシ・ハリマ共同事業体」のヒアリングを行います。「フクシ・ハリマ共同事業体」を入室させてください。

[フクシ・ハリマ共同事業体 入室]

○部会長 では、お待たせいたしました。「フクシ・ハリマ共同事業体」さんですね。

それでは、これからヒアリングを行いたいと思っております。10分間で本日の出席者のご紹介と提案の内容を簡潔にご説明ください。座ったままで結構です。

○フクシ・ハリマ共同事業体 よろしいですか。すみません、失礼します。

○部会長 終わりましたら私どもから質問させていただきますので、お答えいただきたいと思っております。

では、10分間については3分前、1分前にこのように示しますので、意識して頂いてお話しただければと思っております。では、よろしくお願ひします。

○フクシ・ハリマ共同事業体 では、始めさせていただきます。

本日はプレゼンテーションの機会をいただきまして、どうもありがとうございます。私たちは「フクシ・ハリマ共同事業体」と申します。運營業務を担当する株式会社フクシ・エンタープライズと、維持管理業務を担当する株式会社ハリマビシステムの2社による共同事業体でございます。

では、出席者を紹介させていただきます。

こちらなんですが、提案書の中でも紹介をしております代表企業、フクシ・エンタープライズ所属の担当でございます。

○フクシ・ハリマ共同事業体 よろしくお願ひします。

○フクシ・ハリマ共同事業体 こちらは、構成企業ハリマビシステム、PPP推進部の部

長でございます。

- フクシ・ハリマ共同事業体 よろしく申し上げます。
- フクシ・ハリマ共同事業体 その隣が、同じく P P P 推進部の担当でございます。
- フクシ・ハリマ共同事業体 よろしく願いいたします。
- フクシ・ハリマ共同事業体 そして、私は今回の申請事務を担当いたしました、フクシ・エンタープライズの営業推進部の部長でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

今回の指定管理者の募集の際に、千葉市ご担当者様より本施設の課題として次の説明がありました。利用者数、利用料金収入の減少、それから、ホールや展示室の稼働率の低迷、経年劣化、利用者についての情報不足、当グループでは、これらの課題を克服し、千葉市様が目標として掲げた年間利用者数の 32 万人を達成いたします。本日は、課題を克服し、利用目標を達成するためのさまざまな提案の中から、特に重要なポイントについてご説明をさせていただきたいと思っております。

まず、当グループの実績を生かした安定した管理運営、市民に広く親しまれ、長く愛される施設となるための保守管理、プール運営のプロとしての安全管理対策の徹底、施設改修や機器の更新を含む利用者増加、最新システムを導入した利用者意見の収集と利用者把握、市民の参加機会を拡大する自主事業の充実、これらにつきまして具体的な内容を説明させていただきます。ご覧いただきたい提案書の箇所は、様式の番号とページでご案内をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

では、まず様式第 2 号の 4 ページから実績が書いてございますのでご覧ください。当グループは、既に 5 件の指定管理者の実績を有しておりまして、実績表の左側のチェックマークがついている部分が、当グループ 2 社の実績になります。多彩なスポーツ施設の運営を安定して行っておりますが、中でも、北区元気ふらざ・志茂老人いこいの家は本施設と類似した清掃工場の余熱利用施設で、規模や内容もよく似ております。この施設では、私たちが指定管理者になって 2 年目となりますが、本年度は上半期だけで、昨年度よりも 1 万 6,456 人の利用者増加に成功しております。また、当グループは 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの競技会場となります、オリンピックアクアティクスセンターの運営計画策定支援事業者に選定をされております。このような実績を最大限に生かしまして、こてはし温水プールを安定的に運営してまいります。

続きまして、様式第 7 号、19 ページをご覧ください。こちらの上段の部分をご覧ください。私たちは、こてはし温水プールが市民に広く親しまれ、長く愛される施設となるよう、「誰でも安心・安全かつ快適に利用できる施設環境の提供」、「いつでも利用可能な施設の安定稼働の実現」、「予防保全による施設の長寿命化」、「水光熱費用や修繕費用の低減」による財政負担の軽減、この四つの考え方に基つき、さまざまな提案をさせていただきました。19 ページには、その一部を記載してございます。

続けて、次の 20 ページをご覧ください。本施設は、竣工して 16 年経過しており、施設の長寿命化に向けた管理が必須となります。私たちは、施設情報管理システムを構築することで管理情報をデータとして蓄積し、修繕計画の作成や予防保全へとつなげる精度の

高い管理を行います。また、省エネルギー活動に関しましてもビル管理優良事業者評価の認定を受けてるなど、さまざまなノウハウを有する構成企業のハリマビシステムがISO14001に基づく省エネルギー管理サイクルを構築しまして、効果的な省エネ活動を行ってまいります。

続いて、様式第9号、27ページをご覧ください。27ページでございます。防犯・防災、事故防止につきましては、経験と実績に基づく万全の体制整備を行います。特に本施設で危惧をされるのはプールにおける事故ですが、代表企業が30年以上にわたって培ったプールの安全管理ノウハウ、それから、日本で4団体だけが認定される、日本プールアムニティ協会のプール運営団体としてのノウハウを生かし、さらに十分に訓練された監視員を配置しまして、利用者の安全を確保してまいります。プールの安全管理には絶対の自信を持っております。

続きまして、様式第13号、31ページをご覧ください。31ページでございます。私たちは、快適なスポーツ・レクリエーション、また文化活動の場を提供するために、四つの取り組みを行います。一つ目は値下げです。貸し切り利用で使われている諸室の料金の値下げを提案し、手ごろな価格で気軽に利用できる環境づくりを行います。二つ目は施設の改修です。研修室1を現在のカーペット敷きからスポーツフロアへと改修し、ダンス、エアロビクス、ヨガといった多彩な活動で利用できるようにして稼働率、利用者数の増加を図ります。三つ目はトレーニング機器の更新です。老朽化が懸念されるトレーニング機器のうち主要なものを最新のトレーニング機器へと入れ替え、安全でより効果的な健康づくりが実践できる環境を整えます。四つ目は、現在施設に備わっている機能の活用です。諸室については、今以上に工芸や絵画、文化活動などの利用を促し、さらに施設に設置済みのピクチャーレールを活用した作品の展示が行えるようにするなど、諸室と施設の一体的利用を促し、文化活動の場として提供をしてまいります。また、施設稼働率の低い諸室を有効活用して、スポーツ系の教室、文化系の教室を多数実施したり、小規模のフリーマーケットや市民アーティストによるイベントなどを開催して新たな利用創出を図るとともに、閑散期の利用確保を行います。閑散期の利用確保につきましては、左隣の30ページもご覧いただきたいのですが、プールの利用につきましては、7、8、9月の3か月に限り、これまでと同じように1回の利用時間を2時間としますが、それ以外の期間は利用時間の制限をなくすことによって閑散期のサービス向上を提案させていただいております。

続きまして、様式第15号、34ページをご覧ください。当グループは、特徴的な利用者意見の収集方法を導入します。このアンケートは、従来どおりの紙のほか、スマートフォン、パソコンなど複数の方法で回答ができるため、多くの標本を回収することができます。さらに利用頻度、年齢、居住地区などの属性について詳細な分析ができます。利用者意見の収集とともに、利用者をより細かく把握するためにも役立つアンケートとして導入を提案させていただきました。

続いて、自主事業の考え方についてご説明をします。様式第18号、40ページをご覧ください。40ページでございます。自主事業は施設の効用を発揮するための重要な事業となりますので、当グループでは生涯を通じたスポーツ、健康づくり、文化活動への参加

機会を拡大、諸室やスペースの有効活用による事業への参加機会の拡大、この二つの方針に基づいて提案をさせていただきました。

42ページをご覧ください。こちらには事業の内容が書いてございます。幼児から高齢者までが参加できるプログラム構成、それから、スポーツに限らず文化、教養のプログラムも提案をさせていただいております。また、プールだけではなく、多目的ホールを活用した教室、研修室を活用した教室などを提案し、多くの市民の皆様に参加していただけるよう配慮いたしております。

駆け足の説明となりましたが、フクシ・ハリマ共同事業体の提案説明を終了します。

私たちは実績とノウハウを生かして精いっぱい施設の活性化に努め、必ず利用者目標32万人を達成させていただきます。どうかご選定いただきますよう、よろしく願いいたします。ご清聴どうもありがとうございます。

○部会長 ありがとうございます。

それでは、委員の皆様、何かご質問がございますでしょうか。

○委員 ちょっと小さな話ですけども、アンケート、この方法で情報漏えいの事故なんかは過去に起こっていませんか。

○フクシ・ハリマ共同事業体 その点につきましては全く問題はありませんで、まずこれは匿名でありますので個人が特定されることはありませんので、そういったことはまず問題はありません。

○委員 そうですか。

○フクシ・ハリマ共同事業体 はい。それから、守秘義務であるとか個人情報の保護についてであるとか、そういった体制の確認をしっかり行ってやっておりますので、その辺は大丈夫だと思っております。

○委員 ありがとうございます。

○部会長 他にございませんでしょうか。委員。

○委員 この利用者数の目標ということで、市のほうで一応参考として32万人の設定に対して32万3千人、3千人多くなっておりますけど、教室は8に対して16、倍ありますけど、これで達成できるんでしょうか。

○部会長 39ページですね。

○委員 すみません、39ページ。

○フクシ・ハリマ共同事業体 16教室達成できるかということ。

○委員 ええ、利用人数がこれで対応できるかどうか。

○フクシ・ハリマ共同事業体 大丈夫だと思っております。大丈夫です。大丈夫ですというのは、教室の数だけで32万人まで増やすということじゃありませんので、施設利用の活性化と、あと多目的利用、研修室につきましては、ちょっとこれ人数少なめに、現状の利用者数プラス多目的室と研修室を使った人数を足した数字、ちょっと低めに見てるんですけども、それでこの数字になっておりますので、これはどちらかというときちっと堅実につくった数字で、達成できる数字だと考えております。

○委員 これ見ると5年間で約8千人、9千人以上と書いてありますけど、そうすると

だから年間2千人弱ですよ、平均のペースでいうと。だから、この16ぐらいで達成できるかと思ってちょっと心配なんです。

○フクシ・ハリマ共同事業体 それは大丈夫です。

○委員 ありがとうございます。

○委員 よろしいですか、ちょっと私から幾つかお尋ねしたいんですけども、今、話があった利用率についての件ですが、利用率の向上に関して、31ページに書かれてると思いますけど、特に33ページのPRについて、ちょっと具体的に掘り下げてご説明いただきたいんですけども、ここで例えば多目的室とか研修室の利用料金が低いということが稼働率の低さ、このように分析されてるようですけども、当然料金下げてもPRしなければ効果がないわけで、PRについてどのようにお考えなのか。市政日より等は従前から多分、現管理者でも利用されてると思うんですね。御社になった場合に、じゃあどう変わるのかというところで特徴的なものがあれば。

○フクシ・ハリマ共同事業体 まず、さっき言っていた順番でいきますと、2番ですね、チラシと書いてありますが、まず事業者が変わったときに施設の利用や教室等に関して、新聞折り込み的なものを周辺地区に入れていきたいと思ってます。

○委員 新聞ですか、新聞広告ですか。

○フクシ・ハリマ共同事業体 はい、そうです。新聞広告です、すみません。新聞折り込み広告ということでございます。これを入れさせていただきます。それから、特徴的なところでいくと、今の指定管理者様もきっとおやりなんだと思うんですが、SNSですね、登録をさせていただいて施設の空き情報であるとか、そういったものに登録していただいた方には積極的に配信をしようと思ってます。ちなみに今、ここにLINEって書いてありますけども、今、若い人を中心に使ってるアイテムであるんですが、うちの運営してる指定管理施設では1千人の方が登録してる施設があります。ですので、一方通行ではあるんですが、施設の空き情報や事業情報、こういったものをどんどん表に向けて発信していきたいというふうに思っております。特徴的なところではそんなところを考えております。

○委員 もう一つ、今のに続けて申しますけれども、自主事業、やはりこれ各業者さんがいろいろ魅力のあるものをご提案しているんですが、42ページで御社としての目玉はこれだというのがありますでしょうか。

○フクシ・ハリマ共同事業体 現事業者様もいろんな事業をおやりだということは認識しております、温水プールという名前ではあるんですが、今回諸室、研修室やホールの活性化というところも着眼しまして、陸というんでしょうかね、プールではない教室をいろいろ提案させていただきました。それで、幼児ですね、幼児体育教室であるとか児童体育教室、子ども向けの事業、それから、パワーアップ体操といって高齢者の方も参加できる、そしてどちらかというところちょっと介護予防につながるような事業というようなものなんかも取り入れてやってるというところが特徴的なところだというふうに思っております。

○委員 ありがとうございます。

○部会長 委員。

○委員 30ページのところにありました、夏場のときに2時間で超過料金というのが、最初は混んでるときに有効に使うことかなというふうに思ってたんですが、先ほどの説明ですと、混んでないときにそれを取り払うことによってたくさん来てもらうということの戦略だというご説明でしたが、その辺は他の施設で実績的にそういうのがあるんですか。

○フクシ・ハリマ共同事業体 実際にこのような取り組みは幾つかの施設で弊社のほうがやっています。こうすることで、著しく、ものすごく、画期的に人数が出るかというところ、実はそんなことはなくて、どちらかというところと利用サービスにつながるというところでございまして、時間を気にせずゆっくり利用していただける。ですから、お子様なんかお連れのお客様なんかは慌てて着替えさせたりとかしてるわけなんですけど、そういったことがなく、利用しやすくなったという声はたくさんいただいていますので、飛躍的ではないけど、利用率の向上には少なからず貢献するような取り組みかなというふうには思っております。

○委員 プールの運営は絶対自信があるということでしたんで、ここのこてはしでやられてなくて、ほかのところではやっていて、今後取り入れられるよというのがほかにも何かあるんでしょうか。

○フクシ・ハリマ共同事業体 安全管理とはちょっと違うことになるんですが、今回、私、プレゼンではお話ししなかったんですけど、できれば居住地区と性別ぐらいの情報を利用者把握の一環としてどういう地区の方が、どういう方がいつも何人ぐらい来てるのか、とかいうようなことがとれるようなことをやっていきたいと思っています。そのことによって、次の方向戦略であるとか、事業の立案の参考にしていきたいというふうには思っています。

○委員 ほかの施設でも実績があるということですか。

○フクシ・ハリマ共同事業体 はい。

○委員 ありがとうございます。

○委員 27ページの一番下、事故防止策、ここのご説明の際にプールアメニティ協会、それはどういうものでしょうか。

○フクシ・ハリマ共同事業体 プールアメニティ協会というのは、公益社団法人です。それで、資格でいうとプール衛生管理者であるとか、プール施設管理士といったような公的な資格を発行してる団体で、プールの安全衛生管理の普及活動を行ってる団体でございます。当社はそこにも所属をしております。ですので、何でしょうかね、プールに配置する資格としてプール衛生管理者が求められたりすることあるんですが、そういった資格の発行元の団体でもあります。

○委員 4社しかない。

○フクシ・ハリマ共同事業体 まだ、認定されてるのは4社だけです。

○委員 民間資格、公的とおっしゃいました。

○フクシ・ハリマ共同事業体 公益社団法人が発行してる資格になります。

○委員 そのノウハウを使ってプールの監視員の教育を行いますよと、監視員のレベルは高いですよという意味なんですね。

○フクシ・ハリマ共同事業体 そうです、はい。認定を受けるに当たっては、まず会社

としてちゃんとマニュアルが整備されていたりとか、管理体制とか視察も全部入って、チェックを受けた後で認定を会社として受けてますので、そういった体制が社内で整っているということで認定されたというところでございます。

○委員 会社としてのですね。

○フクシ・ハリマ共同事業体 はい。

○部会長 委員。

○委員 33ページの下なんですけれども、ここは高齢者人口が多い地域ですけど、先ほど介護予防という話が出ましたけどね、大体、高齢者は生活習慣病が多い、認知症のほうが多いといろいろ我々も含めて。要するにそういうものに特化したいろんなプログラムというか、そういうものの教室とかいうようなもの、ちょっと考えてみる気はないんですか。

○フクシ・ハリマ共同事業体 ノウハウとしてはありまして、実は施設の運営だけではなくて介護予防事業単体で受託をしてやってたりもしますし、そういう専門的な指導ができるスタッフも社内におりますので、事業をやることは可能です。ただ、領域としていわゆる市として取り組んでいる施策等もあると思いますので、そこに我々がやっていいのかどうか等も協議をした上で、実施は可能でございますので、必要性があればぜひ取り組んでいきたいなというふうには考えております。

○委員 私から質問。ちょっと話がかわって、収支の話で46ページになりますけれども。本社管理費として、業務担当者あるいは本社経理担当者の間接経費ということが示されてますけれども、間接経費は具体的にはどういうものなんでしょう。

○フクシ・ハリマ共同事業体 業務全てがこの施設で完結すればいいんですけれども、例えば事業の計画であるとか支払い関係の事務であるとか、そういったものを一部外に持ち出してやってたりしていますので、それに係る当該人件費の費用をまず間接経費としていただくような計上をしているということです。

それから、先ほど説明しましたアンケートに関しては会社全体で取り組んでやるんですが、案分費用としてそういったものを計上させていただいております。そういったものが間接経費という形で計上させていただきたいと。

○委員 実質御社の利益になる分ということですかね。

○フクシ・ハリマ共同事業体 利益になるということというのが。

○委員 民間企業ですから当然利益を上げていただく必要もあろうかと思うんですが。

○フクシ・ハリマ共同事業体 利益というのは、この収支計画からプラスになったところというふうに理解をしていますので、あらかじめこの中に利益はこの部分だという確保の仕方は我々はしておりません。

○委員 わかりました。ありがとうございます。

○部会長 ほかにございますでしょうか。

(なし)

○部会長 それでは終了いたしました。どうもありがとうございました。

[フクシ・ハリマ共同事業体 退室]

○部会長　それでは、委員の皆様、今のヒアリングを踏まえて採点をしていただきますが、その前に確認しておきたいことはございますでしょうか。ほかの委員さんに対してご質問とか。

○委員　収支の見積もりは妥当なのかな。

○委員　正直、利用料金下げて、それで稼働率上がるのか。逆になる可能性が。

○委員　稼働率変わらなければ減少になっちゃうだけですよね。

○委員　みんないいこと言うから迷うよね。選択が大変。

○委員　それが妥当かどうかも含めて、丸していただいたらいいと思いますけど。

○委員　間接経費、採点が13点、すごく低くなっちゃってるんですよね。提案額が高いんですよ。これはあれですかね、値下げして回収一生懸命しますということ。

○委員　利益還元につなげていただければと思いますけど。

○委員　この7点の差はでかいな。

○委員　そうですね。

○委員　ほかで挽回しにくい、これ。

○委員　7点だと難しい。

[採点]

○部会長　それでは、採点終わりましたでしょうか。

それでは、昼の休憩といたします。事務局のほう、何かございますでしょうか。

○佐久間市民総務課長補佐　午前中のご審議ありがとうございました。

委員の皆様には、別室に昼食をご用意しておりますので、職員のほうをご案内いたします。なお、この部屋は12時45分まで施錠いたしますので、貴重品等はお持ちになってご移動をよろしくお願いいたします。

会議の再開は午後1時とさせていただきますが、5分前までにはお戻りいただきますように、よろしくお願いいたします。午前中、どうもありがとうございました。

(休憩)

○部会長　それでは、再開いたします。

午前に引き続きまして審査を行います。

まず、「シミズ・シンコー共同事業体」について審査いたします。

初めに、施設所管課であらかじめ採点した審査項目についてご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長　それでは、「シミズ・シンコー共同事業体」の採点結果についてご報告をいたします。

「採点表」のほうをご覧いただきたいと思います。「同種の施設の管理実績」でございますが、5点でございます。構成する全ての事業者において、同規模の複合施設の管理実績があることを提案書で確認いたしております。

次に、「管理経費」、下段のほうですが、そちらは16点と採点いたしました。基準額に対する削減率から加算点を4点とし、基礎点の12点に合計して算出しております。

次に、「市内産業の振興」ですが、2点と採点しております。代表企業は準市内業者でございますが、構成員には市内業者が含まれていることを申請書類で確認をしております。

次に、「市内雇用への配慮」でございますが、こちらは空欄になっております。提案書の記載内容に確認が必要なため、ヒアリング時に提案書の記載内容の確認を行い、採点することとさせていただきます。

次に、「障害者雇用の確保」でございますが、1点と採点してございます。法定雇用率未達成でございますが、新規雇用の予定があることを提案書で確認いたしております。

以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

ただいまの説明について、何か質問ございますでしょうか。

先ほどの6の(3)ですかね、要確認ということでしたけれども、説明が終わった時点で委員のほうから質問していただくということで内容を確認したいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

よろしいでしょうか。

(なし)

○部会長 では、「シミズ・シンコー共同事業体」の経営及び財務状況について、公認会計士でいらっしゃる織戸委員より計算書類等を基にご説明いただきたいと思います。よろしくをお願いします。

(※経営及び財務状況に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7号第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○委員 この構成する3社のうち、1社は、収益力、利益獲得力はある程度ある。1社は、大きな資産、負債は持たずに小回りをきかす会社なので、特に会計上の問題ない。1社は、これは財政状態、健全ですし、収益力も十分です。

○部会長 それでは、これから「シミズ・シンコー共同事業体」のヒアリングを行いたいと思っております。「シミズ・シンコー共同事業体」を入室させてください。

[シミズ・シンコー共同事業体 入室]

○部会長 どうぞおかけください。「シミズ・シンコー共同事業体」さんですね。

これからヒアリングを行いたいと思っております。10分間で本日の出席者のご紹介と提案内容を簡潔にご説明ください。説明が終わりましたら私どもから質問をさせていただきますので、お答えください。事務局のほうから3分前と1分前にとりあえずこちらを提示しますので、その旨ご承知ください。

では、どうぞよろしくお願いいたします。

○シミズ・シンコー共同事業体 シミズ・シンコー共同事業体でございます。よろしくお願いいたします。着席させていただきます。

本日は、このたび私どもにこのような機会をいただき、ありがとうございます。本事業体は、現管理者であるシミズオクト、シミズサービス千葉とプール運営において全国有数の実績を持ち、また、余熱利用施設の運営経験豊富なシンコースポーツを新たに共同事業体に加え、これまで以上の高いサービス提供のできるメンバーと自負しております。

本日は、本事業体の構成企業から予定現場責任者を出席させております。

ここでメンバーのご紹介をさせていただきます。

私の隣から、予定現場責任者です。

- シミズ・シンコー共同事業体 よろしくお願ひします。
- シミズ・シンコー共同事業体 続きまして、シミズオクト、担当です。
- シミズ・シンコー共同事業体 よろしくお願ひいたします。
- シミズ・シンコー共同事業体 続きまして、シミズサービス千葉、担当です。
- シミズ・シンコー共同事業体 よろしくお願ひいたします。
- シミズ・シンコー共同事業体 シンコースポーツ、担当です。
- シミズ・シンコー共同事業体 よろしくお願ひします。
- シミズ・シンコー共同事業体 それでは、シミズオクトの担当より提案内容の説明をさせていただきます。
- シミズ・シンコー共同事業体 それでは、ご説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

本施設の管理運営に取り組むに当たり、達成すべき指標として年間の施設利用者数を3万7,735人以上と設定いたします。これは、千葉市の設定する目標値を2ポイント以上上回る数値です。また、各種講座・教室については、年間11講座、月76教室の実施を目標といたします。これらの数値目標は、本施設の現状分析を踏まえ、プール部門を中心に教室等のプログラムの充実を図るなどの方策により、十分に実現可能な目標と考えます。この数値を達成するため、私どもは三つの柱を設定いたしました。一つ目は利用者数の増加にかかわる方策、二つ目は各種教室・講座プログラムの充実、三つ目は情報発信の充実、以上の三つです。この三つの柱を軸に、先に掲げました目標実現を目指します。目標達成のための具体的方策についてご説明いたします。まず、利用者数の増大にかかわる方策です。現在、市内に限定されている65歳以上の利用者に対しての減免と減免の利用料を市内外問わず全ての皆様に適用いたします。同時に、利用回数に応じたプレゼント等の特典を付加するポイント制を導入いたします。さらに、高齢者向けのトレーニングマシンの新規導入など施設の魅力を高めつつ、諸室の稼働率を高め、利用者増を図ります。初年度の諸室の稼働率目標として30%を目指します。また、7月、8月の繁忙期の金曜日、土曜日は夜10時まで営業時間を延長いたします。これらにより、全体としての利用者数の底上げが可能であると考えます。

次に、プールを中心に自主事業を核とした各種教室・講座プログラムの充実です。利用者ニーズや利用者の年齢層、スキルに応じた多様な教室・講座メニューを設定し展開いたします。同様に、水泳以外のスポーツや書道などの文化系の体験型教室の充実も図ります。また、現在利用者の皆様に好評を得ているマッサージ機などのサービスや縁日といったイベント等は継続しつつ、千葉市ご担当者様と協議を重ねながら本施設の設置目的であるスポーツ・レクリエーションの浸透、地域のコミュニティ形成につながる満足度の高いプログラムを展開いたします。これらのプログラムの参加受け付けは、一部を除き可能な限り当日参加もできるよう、柔軟な対応をいたします。自主事業の運営に当たっては、本事業

のスタッフ全員で企画・立案を行い、必要に応じて構成企業の支援を受けつつ実施いたします。

次に、情報発信の充実です。情報発信は、利用者増大にかかわる重要な要素と考えます。まず、本施設のホームページをリファインし、使い勝手がよく、利用者の意見を吸い上げることのできる画面設計を行い、掲載情報の充実を図り、施設の利用促進につなげます。あわせて、市内公共交通機関や公共施設への広告掲載、パンフレット等の告知物の設置により、きめ細やかな情報発信を図ります。また、本事業体の構成企業がかかわる市内の諸施設での情報発信や媒体等の活用も検討いたします。

このように、私どもは利用者数の増大にかかわる方策、各種教室・講座プログラムの充実、情報発信の充実、三つの柱を軸に、先に掲げました目標の実現を目指します。

また、単に数値目標を追求するだけでなく、いきいきプラザとの共同講座を初め、地域団体やスポーツサークルなど地域全体を巻き込んだ展開を図り、地域に根差した施設として運営いたします。

これらの目標の実現を支えるのが質の高い管理運営です。シミズグループは、現管理者として5年間、ひとつも事故を起こすことなくサービスの提供をしてまいりました。これからも本施設の管理を通じて蓄積したノウハウを生かしながら、安全・安心、快適なサービスを提供してまいります。

特に設備面においては、近い将来、設備機器の経年劣化による大規模な修繕が予想されます。この点については千葉市ご担当者様と協議の上での対応となりますが、まずはこれまでの経験を生かし、全てのスタッフが常日ごろから意識をし、きめ細やかに点検、小規模修繕等の小まめなメンテナンスを通じて対応いたします。

最後に、指定管理者として公の施設を管理する上での視点についてお話しいたします。

それは、市民の大切な資産である本施設をお預かりし、大切に運用するとともに、将来に向けて施設の価値を高める努力を積み重ねていくということです。これを具体化するため、行政、利用者という地域の皆様の多様で複眼的な評価、指摘を真摯に受けとめながら、事業実施面はもとより、雇用面も含め、民間企業のダイナミズムの源である運営力、管理能力、経営力をバランスよく発揮し、課題解決に取り組みます。

千葉市こてはし温水プールの管理運営に当たっては、シミズグループのこれまでの5年間のノウハウとシンコースポーツの専門力、企画力にお任せください。真に地域の健康、スポーツ拠点となる施設の実現に向けて全力で取り組みます。

説明は以上となります。どうぞよろしくお願いたします。ありがとうございました。

○部会長　　ありがとうございました。

それでは、委員の皆様からご質問がありましたらお願いいたします。

まず初めに、委員のほうから。

○委員　　お願いいたします。

12ページ、表があります。上のほうの表です。これと46ページ、ここにも表がありますけれども、この表の関連性についてのご質問をまず一つ。この表のナンバーはそれぞれ一致してはいけないということになっているようですが、46ページには10

番としてプール担当者となっております、一方、12ページのほうの10番はプール副責任者になっています。これはなぜ違うのでしょうか。

○シミズ・シンコー共同事業体　こちらのほうの番号ですけれども、プール担当者というのはプールの責任者と副責任者、両方のことを指しておるんですけれども、ちょっと言い方の違いだと思います。

○委員　46を9、10とすればよいわけですか。

○シミズ・シンコー共同事業体　はい、そうです。

○委員　46ページの10と書いてあるところが9と10なんですね。

○シミズ・シンコー共同事業体　はい。

○委員　プールの責任者と副責任者ですよということですね。

○シミズ・シンコー共同事業体　はい。

○委員　もう一つ、これに関してご質問いたします。今おっしゃった責任者、副責任者はプール全般の監視をなさる方と思いますが、常時3人以上の監視員を置かなくてはならないと、そういう観点での監視員はここには含まれていますでしょうか。

○シミズ・シンコー共同事業体　はい、このほうには監視員は含まれておりません。

○委員　おりません。

○シミズ・シンコー共同事業体　はい。

○委員　12ページの上の部分と、あと46ページの表、いずれもここは監視員は含まないという、そういうことでよろしいですか。

○シミズ・シンコー共同事業体　はい。

○委員　もう一つ、関連質問。44ページ、一番上が広告宣伝費、次が施設管理費、施設管理費の中にはプール責任者、プール副責任者、プール受付要員と3種ございますが、監視員はここではどこに含まれていますでしょうか。

○シミズ・シンコー共同事業体　これは私のほうから。こちらについては、プール監視、受付要員の中にプール監視員が含んでおります。

○委員　含めていますか。

○シミズ・シンコー共同事業体　はい。

○委員　含んだ総額がここに記載してる数字。

○シミズ・シンコー共同事業体　はい、そのとおりでございます。

○委員　費用計上しておきながら12ページ及び46ページ、つまり市内雇用の割合ですね、雇用したときの。ここにはなぜ反映されなかったのでしょうか。

○シミズ・シンコー共同事業体　プールの監視員のほうですけれども、どうしてもプールという特性で夏季というのは非常に繁忙期になっております。夏季とそれ以外のところについては人数的にも相当違いが出てくるんですね。それを踏まえて、一応プール監視員以外の人も含めてなんですけれども、常時監視をするということで仕事をするという人をここに記させていただいているというような現状でございます。

○委員　じゃあ、まず12ページに内訳がありますが、これにもともとプール監視員を含めていない。

○シミズ・シンコー共同事業体 はい。人数的に変動がありますので、どうしても市内雇用率ですとかそれを出すには変動性が出てしまうので、確実に市内の雇用ということ考えた上で、私どもちょっと記させていただきました。

○委員 あえてということなんですね。

○シミズ・シンコー共同事業体 はい。どうしてもアルバイト、非常勤の方は学生さんが多いものですから、うちも積極的に市内雇用ということで市内に住んでる学生さんを募集かけたり雇ったりはすることは必ずやるんですけども、そうもなかなかいかない事情もある場合がございますので。

○委員 ご事情は了解いたしました。

そうすると、市内雇用の率がわからないんですね。

○シミズ・シンコー共同事業体 いや、今現状いる監視員を抜いた形でいくと73%ぐらいに今、市内雇用でやらせていただいております。

○委員 73%ぐらいということですか。

○シミズ・シンコー共同事業体 はい。目標としては80%を目標にしております。

○部会長 審査項目で市内雇用等についての考えも判断するところがあるので、今話がありましたように分母となる数字がわからないと計算で結果が出せないのです。

それで、事務局のほう、今のご回答で数字は出せますか。

○スポーツ振興課 難しいです。

○部会長 ちょっと事務局のほうからお尋ねいただいても構いませんけれども。

○シミズ・シンコー共同事業体 プールのほうは責任者、担当者を入れた形、受付のほうも非常勤でありますけども常時年間来てる方は決まっておりますので、こういう人間を加えて。あと、夏季だけ来るという方を抜いているだけの話なので。プールの監視員については先ほど言ったとおり夏季と閑散期と人数も違いますので、その辺をちょっと入れておりません。

○委員 ご事情はわかりましたが、数字としては一番低いところとるしかないですもんね。抽象的な可能性で採るかもしれないということで。

○スポーツ振興課 今の記載内容で計算させていただきます。

○部会長 分母が一番大きくなる形ですよ。ちょっと不利な結果になると思いますけれども、逆に有利には扱えないですね。

ちょっと変動要因について考慮した上で雇用率確定させていただきたいと思いますので、それはご了承ください。

よろしいですかね、とりあえず。

委員、よろしいですか。

○委員 はい、ありがとうございました。

○部会長 ほかにご質問等ございますでしょうか。

委員。

○委員 今の関連して12ページの、そうしますと人件費の年間の4,870万円で計上されて、ちょっとこれ数字が低いかなと思うんですが、これはじゃあ臨時の監視員とい

うのは入ってないという感じですか、こちらに。

○委員　じゃあ、私のほうから質問申しますが、もちろん構成変わると思うんですけど、現管理者ということで現期間の総括を簡単にさせていただきたい、特に今、次期に向けてどうという問題意識を持たれてるのか、次期への課題というのがあれば教えていただきたいんですけども。

○シミズ・シンコー共同事業体　現在担当させていただいてますと申します。

実際、現在管理してる上で一番ちょっと頭を痛ませていただいているのが、設備機器の老朽化ということで、設備の更新という形で20年更新という話を伺ってるんですが、どうしても24時間動かしっ放しの機械が多いので、今、非常に故障が頻発して起きてるという現状で、小修繕をかなり行っているような現状です。この期間中に当然ながら設備機器の更新がちょうど始まる時期になるんですが、その時期においてプールをどれだけ休館にするのかという問題も出てきますし、また、どうしてもプールの設備の老朽化というのもありまして、プールのタイルがささくれて、お客様から痛いとの苦情が出たりとか、そういうところも含めてちょっと直さなくてはいけないので、かなり大規模な修繕が行われる可能性がある。

あと、お子様が少なくなってる現状もありまして、老人をどうやって呼ぶかということで今回考えさせていただきまして、先ほどの減免ということでやらせていただきたいという話をさせていただいています。

土日はある程度お客様入られてますので、平日にどれだけお客様を呼ぶかということで、シンコーさんのほうからも教室の提案と、老人のほうのリピート率を高めるということで進めさせていただこうというふうに考えてます。

○委員　プール以外のホールと研修室の稼働率の低さについて、その改善策というか、それについてはどう考えてますか。

○シミズ・シンコー共同事業体　それについて、当初いろいろ頑張ってやってはみたものの、どうしても増える見込みがないということで、実際に今回の提案で利用料金を下げさせていただいて、今やってるお客様はとりあえずリピートしていただく、新しい顧客を増やす、またはシンコーさんのほうにこの点でお願いしてる分が教室の充実ですね。それを増やしていただいて、今、実際には9%前後、ホールと会議室に至っては3%前後だと思うんですが、それを全体で最高30%まで上げたいという形で今進めさせていただいているのが現状です。

○委員　続けてすみません、31ページで関連。PRとして、具体的にどんなことをお考えでしょうか。

○シミズ・シンコー共同事業体　今までやってたものとしては、市の各ところにパンフレットをたくさんやったり、あと今、花まわる号というバスがあるんですが、その時刻表の中に温水プールの広告が入ってたり、あと近くの花見川区役所の封筒ですね、封筒に実際にこてはし温水プールのものを載せております。

○委員　プールということですか。

○シミズ・シンコー共同事業体　そうですね、プールのほうですね。実際にプールの中

に諸室等も全部入ってるんですが、今現在でも花見川区に住んでる方でここにこんなのがあるのか知らなかったという方が結構いらっしやいまして、そういう方を対象にして出させていただいています。

今回新しく出させていただく形として、初年度に今考えてるのが市内を走るバスの数台になるとは思うんですが、こてはし温水プールのラッピングカーをちょっと走らせてみようじゃないかということで今考えさせていただいております。

○委員 外に、車体の。

○シミズ・シンコー共同事業体 そうです。

○シミズ・シンコー共同事業体 車体ですね。

○シミズ・シンコー共同事業体 もう一点なんですが、シンコースポーツとしまして、当施設、コミュニティセンターの現指定管理者として今やらせていただいております。実際に年間を通して年3回、5万部のチラシのほうを地域の方々に今配布をさせていただいて、告知活動というのを強化してるんですね。

今回、指定管理者の中でも市内の施設同士が横の連携を図ることによって、ここで利用されてるお客様がさらにプールの施設を利用したいというご要望のほうもこれから潜在的なお客様を掘り起こす意味では非常に大きな要素の一つだと思っておりますので、両方の施設で施設のPR活動をあわせた状態で強化することによって、さらにお客様のアピール、施設の認知度の向上にはつながるということを考えてます。

○委員 具体的には今後アプローチしていくということですかね、まだ何も決まっていわけですから。

○シミズ・シンコー共同事業体 そうなんです。次回の団体でもし選定を受けた暁には、そのような事業の展開が望めますというふうに考えております。

○委員 ありがとうございます。

○部会長 委員。

○委員 32ページのところに現役世代の20代～40代の方を高めることをうたっておりますけど、実際20代～40代の方はほとんどサラリーマンか働いてる方だと思うんです。どのようにして参加を呼びかけて、短期間で成果が出るというか、どういうことをやられるか、ちょっと具体的にお話し願えれば。

また、下のほうに子どもに対しても教室、体操教室等のことを書いてございますけど、子どもにしても多分連携されると思うんで、土曜日とか日曜日されるとか、そういうところに連携されるかと思っておりますけど、この点についてもちょっとお話ししていただければと思います。

○シミズ・シンコー共同事業体 わかりました。じゃあ私のほうでご説明させていただきます。

まず、今お話のありました20代から40代、この利用者層につきましては、弊社のほうで今、管理をさせていただいてる施設でも非常に利用率というものが伸び悩む年代ではあるんですね。この年代に対してやはり働く世代の方々になりますので、ある程度ターゲットを絞った状態で時間を夕方時間帯に集中した状態で、仕事帰りの方々の教室の展開、

事業の展開をさらに強化することによって、お客様のほうは確保ができるだろうというふうに思っております。

これを年間を通した状態でお客様にPR活動、あとは事業の展開を計画しておりますので、ここにつきましても当施設でもそうなのですが、実際の実績のほうは毎年上がっている状況にはございます。

また、子どもの教室につきましても、やはり本施設で実際に子どもの教室は非常に人気がございますので、こちらのほうを運営するに当たっては、まず夕方時間帯の4時以降、子どもを対象とした教室を計画しております。実際に子どもさんが来られるときには保護者の方も一緒に来場されるケースが非常に高いので、その部分ですね、子どもを子育て世代の方々も中心に考えた、配慮した運営としまして、例えば、キッズコーナーの設置をさせていただいて、そこでお子さんを実際に安心して見させることができる環境をつくった上で自主事業の子ども向けの教室の展開を図ることによって環境の整備が図れる。そして利用者増にはつながるといふふうに考えております。

○委員 これは今回初めての企画なんですね。

○シミズ・シンコー共同事業体 はい。

○委員 ありがとうございます。

○委員 利用者からすると、その点が随分変わることになる、そういうことなんですかね。

○シミズ・シンコー共同事業体 はい。実際に施設の立地、そしてお客さんの入りによって状況というのは変化しますので、子ども教室事業を展開する中でお客様アンケートを随時とりまして、お客様のニーズを把握した上で、教室の内容を毎年、あとは期によってですね、内容の変更をかけながら、一番いい形で運営のほうを進めていきたいというふうに思っております。また、この教室事業に関しましては、市の承諾を得た上で教室の事業を展開というふうに認識しておりますので、ここにつきましても、市と情報を共有しながら、お客様サービスに努めていきたいと考えております。

○部会長 ほかにご質問等は。どうぞ。

○委員 老朽化に対する大規模修繕のことですが、これは業務分担からいくと、シミズサービス千葉さんが行うことになるんですか。

○シミズ・シンコー共同事業体 そうですね、大規模修繕については市とご相談という形になるんですが、実際には設備関係はサービス千葉さんが行うという形になりますので、常日ごろからおかしいところはもう目をつけておいて、少しでも、今現在もそうなのですが、少しでも異常があったら、もうその場で修繕をするという形でやらせていただいています。そうすると、大規模修繕まで行くまでに機械を壊さずに済むという形でやっております。

○委員 大規模修繕につきましても、どういう手順でやるか、いついつ総点検をするとか、具体的な手順ですとか、大まかなスケジュールが決まっていたら教えていただけませんかでしょうか。

○シミズ・シンコー共同事業体 今のところですね、現在ですね、冷温水発生機が非常に調子悪いということで、こちらとしては業者からまず見積もりをいただきます。見積も

りをいただいて、市に実際にはこれぐらいかかりますよというのをご提案させていただいて、それ以降、市のほうから一回それを検査していただいて、修繕するかどうかというのを決めさせていただくんですが、その他の機械についても、市が持っている何年間の、20年だったら20年の器具を目安にして相談をしていくという形になると思います。

○委員 わかりました。

○部会長 よろしいでしょうか。

委員、何か。

○委員 聞いてくださったので。

○部会長 大丈夫ですか。よろしいでしょうか。

○委員 ちょっと最後に1点だけ。

自主事業について確認します。今回何社か応募がありまして、やはり差がつくとすれば自主事業の部分だと思うんですけども、御社として、独自のというか、目玉になる事業がありましたら教えてください。ほかと違うぞというところを。

○シミズ・シンコー共同事業体 今回私どもが事業の展開の中で、先ほどお話をさせていただきました説明にもございましたが、まず子どもに対しての教室。これの強化を図っていかなくてはいけないという点と、あとは高齢者に向けた事業というところが一つポイントとしてございまして、高齢者に向けた事業に関してお話しさせていただきます。

特に、この表の39ページの中のラウンドフィットネス。下から4行目ですね、こちらのほう、ラウンドフィットネスというものを今回新たに施設のほうに導入を計画しております。こちらはトレーニングをする上での名前になるんですけども、実際にわかりやすく言いますと、高齢者向けのトレーニング機器を施設のほうに新たに導入を計画しております。そちらをサーキット的に高齢者の方々に、運動を一つずつ機械を順繰りトレーニングをしていただいて、その指導を行うという。ちょうど隣いきいきプラザさんもございますし、高齢者の利用というのはこれから先、伸ばしていかなくてはならない一つの課題にもなりますので、私どもはこういう事業を新たに展開させていただきながら、高齢者層の利用の拡大、そして諸室の稼働率の拡大、この2点を目指して事業に取り組みたいというふうには思っております。

○委員 ありがとうございます。

○シミズ・シンコー共同事業体 あと、もう一点だけちょっとあるんですが、よろしいですか。

○部会長 時間大丈夫ですか。

○シミズ・シンコー共同事業体 もう時間、大丈夫ですか。

○市民総務課 もう時間ないです。

○シミズ・シンコー共同事業体 あとですね。

○部会長 すみません。時間ですので。

○シミズ・シンコー共同事業体 時間ですね。ありがとうございました。

○部会長 申しわけございません。これでヒアリングを終了したいと思います。失礼しました。どうもありがとうございました。

[シミズ・シンコー共同事業体 退室]

○部会長 それでは、委員の皆様、今のヒアリングを踏まえて採点をしていただくことになりますが、その前に確認したいことなどありましたら、あわせて今、発言していただいで。

委員いかがでしょうか。

○委員 ちょっと、結論的に、この人数のほうで採点する、下の方の。

○委員 市内雇用。

○スポーツ振興課 記載してある内容で、低いほうをとということで、低いという表現があったんですけど、それを確認したいんですが。今、12ページのほうに記載してある人数は18、18人になっておりまして、今、記載してある市内雇用の従事者、こちらのほう、46ページのほうについては14人が記載されております。この人数で計算をして採点をしようかなと考えているんですが、それでよろしいでしょうか。

○委員 ですから、何%から何%って幅があると思うんですけど、一番低いところでやるしかないですよ。

○スポーツ振興課 一番低い。

○委員 雇用率が低い、というのは、不確定な要素があると仮定してはできないので。

○スポーツ振興課 今記載してある内容で計算しますと、77.8%ということで、5割から8割未満というところで2点になります。

○部会長 何かご意見とかありますか。

(なし)

○スポーツ振興課 2点で。ありがとうございます。

○部会長 点数としては2点ということでありまして。その点数でつけていただければと思います。

ほかにご意見ありましたら。

(なし)

○部会長 では、採点をお願いします。

[採点・休憩]

○部会長 それでは次に、「こてはし温水プールコミュニティーズ」について審査を行いたいと思います。

初めに、施設所管課であらかじめ採点した審査項目についてご説明をお願いします。

○安藤スポーツ振興課長 それでは、「こてはし温水プールコミュニティーズ」の採点結果についてご報告させていただきます。

採点表のほうをご覧ください。まず、「同種の施設の管理実績」ですが、5点といたしました。構成する全ての事業者と同規模の施設の管理実績があることを提案書で確認いたしております。

次に、「管理経費」でございますが、14点と採点いたしました。基準額に対する削減率から加算点を2点とし、基礎点の12点と合計して算出いたしております。

次に、「市内産業の振興」でございますが、2点と採点してあります。代表企業は市内業

者でございますが、構成員は準市内業者及び市外業者であることを申請書類で確認しております。

次に、「市内雇用への配慮」でございますが、1点と採点してございます。施設従事者の市内在住率が48名中11名で、その割合は22.9%であることを提案書で確認いたしております。

次に、「障害者雇用の確保」でございますが、1点と採点しております。法定雇用率未達成でございますが、新規雇用の予定があることを提案書で確認しております。以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

ただいまの説明について、何かご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(なし)

○部会長 では、こてはし温水プールコミュニティーズの経営及び財務状況について、公認会計士でいらっしゃる織戸委員より計算書類等を基にご説明をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

(※経営及び財務状況に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7号第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○部会長 ありがとうございます。

委員、総合的には何点ですか。

○委員 3ですかね。

○部会長 では、これから「こてはし温水プールコミュニティーズ」のヒアリングを行いたいと思いますので、「こてはし温水プールコミュニティーズ」を入室させてください。

[こてはし温水プールコミュニティーズ 入室]

○部会長 「こてはし温水プールコミュニティーズ」さんですね。ただいまからヒアリングを行いたいと思います。10分間で本日の出席者のご紹介と提案内容を簡潔に述べてください。説明が終わりましたら、私どもから質問をさせていただきます。

それでは、このように3分前と1分前に掲示をしますので、それを意識しながらご説明いただければと思います。

では、よろしくお願ひします。

○こてはし温水プールコミュニティーズ 「こてはし温水プールコミュニティーズ」と申します。このたびはこてはし温水プールの指定管理者の応募に際し、このような機会を設けていただき、ありがとうございます。

それでは、グループを構成しており、本日出席している者を紹介させていただきます。

私の隣が、主にプールの管理運営、実施事業を担当いたしますミズノスポーツサービス株式会社の担当でございます。

○こてはし温水プールコミュニティーズ よろしくお願ひいたします。

○こてはし温水プールコミュニティーズ その隣が、主として設備の維持管理、経理、

清掃業務を行います株式会社オーエンスの担当でございます。

○こてはし温水プールコミュニティーズ お願いいたします。

○こてはし温水プールコミュニティーズ お願いいたします。

○こてはし温水プールコミュニティーズ 最後に、本グループの代表企業であります、一般財団法人千葉県まちづくり公社、担当でございます。よろしくお願いいたします。

○こてはし温水プールコミュニティーズ お願いします。

○こてはし温水プールコミュニティーズ それでは、座らせていただきます。失礼いたします。

最初に、私たちグループの概要についてご説明させていただきます。4ページから6ページに記載しました内容をご説明させていただきます。

まず、代表者であります一般財団法人千葉県まちづくり公社でございますが、千葉県内の県立都市公園6公園を初め、教育委員会施設等の指定管理者として管理運営に携わっております。特に千葉県総合スポーツセンターをはじめとした多くのスポーツ施設や県立富津公園の温水プール、夏季限定の屋外プールの管理運営を行い、スポーツを通じたコミュニティの形成を行っております。

次に、構成者であります、ミズノスポーツサービス株式会社でございますが、多彩なスポーツ教室を全国規模で展開し、多種多様なスポーツプログラムやスポーツレクリエーション行事の提供を行っております。また、スポーツメーカーミズノが100%出資の子会社で、指定管理者として多くの施設の管理運営を行っております。

最後に、構成者であります、株式会社オーエンスでございますが、東京体育館を初めとした全国規模の体育施設やプール、公民館等多くの公共施設の管理運営を行っております。特に、東京辰巳国際水泳場や千葉国際水泳場など、国際的な公式競技を行う水泳施設を管理し、安全、安心な施設の提供を行っております。

それでは、私たちの提案についてご説明させていただきます。

1ページをご覧ください。こちらに記載のとおり、私たちは指定管理者として管理運営を行うための四つの基本方針を次のとおり掲げました。一つ目として、「行政の代行者として平等性・公平性の確保」、二つ目として、「多様化するニーズに効果的・効率的に対応」すること、三つ目として、「市民サービスの向上と経費の節減」。最後に、「安全・安心第一」です。

一つ目の「行政の代行者として平等性・公平性の確保」につきましては、指定管理者は公の施設の管理権限を委任された行政の代行者であることから、条例等で定められた施設の休館日や開館時間、管理を通じて得た個人情報の保護などを適正に行います。また、行政の代行者として、千葉市の施策への協力も必要不可欠であると考えております。特に千葉市スポーツ振興計画における目標や、こてはし温水プールの役割を十分に理解し、施設の利用はもとより、多種多様な自主事業を開催することで、多くの方々がスポーツをする機会やスポーツに触れ合う機会を創出し、市民の方々の健康増進に寄与するとともに、本施設に多くの利用者を集めることで、本施設を核としたコミュニティの形成を図ってまいります。

私たちグループの構成者であるミズノスポーツサービス株式会社については、これまでに全国723施設のスポーツ施設を運営してきた実績やノウハウを生かし、提案書40ページから41ページに記載してあるとおり、温水プールを利用した水泳教室を初め、子どもを対象とした走り方教室、高齢者向けの介護予防プログラムなど、年36教室を実施し、本施設に多くの方々を集めることが可能です。さらに、39ページに記載のように、介護予防プログラムを通じて、隣接する花見川いきいきプラザとの連携なども可能になるものと考えております。

続きまして、二つ目の、多様化するニーズに効果的・効率的な対応についてです。本施設の周辺人口の年齢構成を見てみると、65歳以上の方が全体の23%を占めていることから、現管理者と同様に、千葉市在住の65歳以上の方を対象に、温水プールの利用料金を通常の80%である240円といたします。また、現在本施設の中で利用率が約8%と低い多目的ホールや研修室については、30ページに記載のとおり、これまで1コマ当たり3～4時間と、会議などを行うには1コマ当たりの時間が長く、無駄が生じてしまう状況でした。この利用時間の設定を、1コマ当たり1時間から2時間に変更することで、利用者の費用負担に無駄が生じることなく、利用しやすい施設となることで、利用率が向上するものと考えております。

自主事業におきましても、先ほどご説明させていただきました施設を使う教室のほか、施設周辺を利用した屋外プログラムである、ウォーキング教室などを開催することで、屋外での運動を希望される方への対応を図ります。

三つ目の、市民サービスの向上と経費の縮減についてです。市民サービスの向上につきましては、行政の代行者として平等性、公平性の確保や、多様化するニーズに効果的、効率的な対応において、自主事業の内容や施設の利用時間の区分についてご説明させていただいたとおりです。

経費の縮減につきましては、これまで株式会社オーエンスが培ってきたノウハウをもとに、施設の利用状況に応じた対応を行い、ライフサイクルコストの縮減を図ります。特に19ページから23ページに記載のとおり、清掃業務では、屋内大規模水泳場という施設の特性から、集客状況による清掃頻度のゾーニングを行い、効率的な清掃を心がけます。また、予防保全の観点から、施設や設備の劣化診断調査を実施し、状況に応じた効率的な修繕を行うことで、大規模修繕の減少を図り、さらなる経費の縮減を図ります。さらに、大きな支出が伴う修繕や物品の購入については、代表団体である一般財団法人千葉県まちづくり公社の規定に基づき、見積合わせを行うことで費用の削減も図ります。

最後に、安全、安心についてです。主要施設である温水プールについては、万が一の事故が重大事故へとつながる可能性が高い施設であると認識しており、一番重要な事項が利用者への安全の配慮だと考えております。プールの管理運営については、主として、構成企業であり多くのプールの運営実績を有するミズノスポーツサービス株式会社が担当することといたします。プールの監視員については、常時8名を配置し、それら監視員につきましては、水上安全講習の安全資格修了者といたします。また、夏休みの期間中など繁忙期については、状況に応じ監視員を増員するなど、利用者の安全に配慮した運営を行います。

さらに、水質管理や衛生環境の保持などが重要であることから、二つの国際水泳場の管理実績を有する株式会社オーエンスが行うこととし、適正な設備の運転や維持管理を行うことで、安心して利用できる施設といたします。

このように、私たちグループが本施設を管理運営することで、安全、安心な施設を提供できるものと考えております。さらに、多種多様な教室の開催や、利用者ニーズへの対応を行うことで、多くの利用者が本施設に集まり、38ページに記載のとおり、私たちグループの施設利用者数の目標である年33万2千人が達成できるものと考えております。

また、本施設を多くの方々が利用することで、市民の健康増進につながるとともに、利用者である、各個人がスポーツレクリエーションにおいてつながりを持つことで、本施設が地域のコミュニティの核となり、設置の目的が達成され、千葉市の施策の一助とさせていただけるものと考えております。

以上で説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○部会長 ありがとうございました。

それでは、委員の皆様、何かご質問がありましたらお願いします。

では、委員。

○委員 施設が老朽化しているということから、今回の指定管理におきましては、機械設備及び備品の維持管理に関する業務を担われるオーエンスさんの役割、これがかなり大きいかと思いますが、特に強調しておきたいことが何かございましたら、おっしゃっていただけますか。

○こてはし温水プールコミュニティーズ 当社では、今回の提案に当たりまして、予防保全を主眼として管理に当たりたいと思います。特に老朽化している設備もあるかと思えますので、それによる突発的な事故が起きて営業に支障が来さないように、日々の点検に心がけるとともに、日常の小修繕等も徹底して行い、無駄な修繕費の発生や、あと設備、建物の延命化を図ることを主眼として管理するとともに、利用者の安全や、不便や不都合を来さないように管理をしてまいりたいと思います。

○委員 ありがとうございます。

ちょっと追加で、意地悪な質問なんですけど、今回責任割合がオーエンスさん10%と低いのですが、なぜそんな遠慮されての10%なのでしょう。

○こてはし温水プールコミュニティーズ 責任の割合につきましては、まず収入の案分を基本といたしました。我々まちづくり公社とミズノさん、オーエンスさんを比較しますと、我々とミズノさん、主にプールの監視の業務を行うミズノさんは同じぐらいの割合で、オーエンスさんはやや低い収入ということになりますので、もちろん我々代表ですので、ミズノさんと同じリスクというよりは、我々は代表者として負わなければならないリスクというものがあるということで、その辺は我々が一番高い。次にミズノさん、最後にオーエンスさんという形でのリスク分担になっております。

○委員 ありがとうございました。

○委員 すみません、収入というのは、要するに、取り分ということで理解してよろしいですか。

○こてはし温水プールコミュニティーズ そうです、そのように理解していただいて。
○委員 一方で、支出ベースで割合を定めるということもあると思うんですけど、ここでは収入のほうでということですね。

○こてはし温水プールコミュニティーズ そうですね、ほぼ収入になる。

○委員 わかりました。

○部会長 ほかにご質問はございますでしょうか。

委員。

○委員 すみません。これの38ページですね。温水プールの利用で、65歳以上が全体の23%、これから増えることはもう十分わかっておりますけど、それを利用して65歳以上の方をどのようにして募集をされるのか。ただ募集、料金を安くしますとただ言っただけじゃ、なかなか65歳は集まらないと思うんですけど、どういう方法でこの参加を募ってくるか。

○こてはし温水プールコミュニティーズ まず、現在の管理者さんにつきましても、こちらの料金設定は行われている状況がございますので、まずその方のリピーター、我々の管理とか運営の中でリピーターの方がまず減らないようにするというのは必要であろうと思っております。管理不足とか、我々の接客態度による、もうこの施設に来たくないというような思いをさせないことは、まず最低限でやらないといけないということがございます。

さらに、これから65歳になる方とかを増やさないといけないということがございますが、それにつきましては、まず私たち千葉県まちづくり公社もそうですし、オーエンスさんも千葉県内で指定管理者として幾つかの施設を管理しております。特に千葉市内の施設につきましては、そのような65歳以上の方は約8割の金額、240円で利用できますよということを掲示するとともに、市の広報などにも再度再掲示していただくなどの方策をとって、利用者の増に努めていきたいと思っております。

○委員 ただ、市の広報とか等々で募集されるということは、それはわかりますけど、ただそれだけで集まるかと。大丈夫かなとちょっと。それはよくわかりますけど、その点は。

○委員 御社の独自の取り組みとか何かあればいいですけどね。

○委員 あるといいですね。

○こてはし温水プールコミュニティーズ ミズノが得意としております高齢者の方々の、まず要介護になる前の方々の健康の運動プログラムをすることによって、元気に来ていただくというのを今度の施設でアピールしていこうと思ひまして、そういう方々も、花見川いきいきプラザとも連携しながら、集めるということを今のところは考えております。

○委員 コンテンツの充実はわかるんですけど、それをどうPRしていくかという、そういう質問ですよ。

○委員 何かいろいろな媒体があると思うんですよ。いろんな市政だよりもさることながら、普通の新聞にも広告出すとか、例えばそういうふうになら集めないと、ただ、いきいきプラザなどと交流しただけではなかなか、その65歳以上もそんなに限定されちゃ

うと思うんですけど、ある程度の方法がないとできないじゃないかなと思うんですけど、その点どうかと思って。

○こてはし温水プールコミュニティーズ 私どもでは、このプログラムをやるに当たり、地域の包括支援センターですとか、そういったところにもご訪問させていただいて、こてはしの温水プールではこういうプログラムをやっているの、ぜひ健康のためにどうぞということで、待っているだけではなくて、いろんなどころにチラシを置いていただいたり、時にはこういうプログラムをやっているというデモンストレーションもさせていただきながら集客を図るとか、来ていただく機会を増やしてもらおうような取り組みもしていこうとは思っております。

○委員 どうも。

○部会長 よろしいですか。

どうぞ、委員。

○委員 今のはいいですか。

○委員 はい、これ以上広がらないので。

○委員 公共施設の指定管理を随分やられていると思うんですけど、ここのこてはし温水プールの運営上、ネックなどところというのは正直どんなところだと思いますか。考えていらっしゃいますか。

○こてはし温水プールコミュニティーズ まず、ネックといいますか、一番安全面の配慮からしますと、やはり夏季の夏休みの期間ですね。子どもさんが大変多い季節になるということで、そちらの安全管理、それがやはり一番重要であろうと。事故を起こさないように運営しないといけないという意味では、そこが一番重要であると考えております。

また、先ほどもちょっと説明の中であつたと思うんですけども、今、多目的室とスポーツ室とあるんですけども、やはりそちらの利用率のほうがなかなか上がらないということで、収入の確保も難しいという中で、今回は自主事業を担当しますミズノさんのほうで、ミズノのほうで独自の自主事業を開催しながら、そちらの利用率の向上、また収益のアップということで考えられますので。特に私が思っているのは安全の確保とそちらの利用率、施設の利用率の向上というものが、今一番のネックだとは思っています。

○委員 私もその二つはすごく大事だと思っておりますが、夏はたくさん来るので安全確保というのと、逆に夏以外のところは少なくなるので、そこはどうするかというところ。もう一つ、ちょっと立地的になかなか行きづらいかなと思うので、そこら辺はどのように対策としてお考えでしょうか。

○こてはし温水プールコミュニティーズ 夏以外は、ある程度プールが閑散としてくる時期は、水中のウォーキング教室であつたり、あとミズノアクアというミズノの独自の水中運動プログラムをすることによって、近隣の方の集客にも努めていく。これは夜だけではなくて、午前中の時間であつたりですね、そういったところにプログラムをやることによって、年間を通じて安定した集客を図れるというふうに考えております。

○委員 すみません、それはどういう対象ででしょうか。

○こてはし温水プールコミュニティーズ ほぼ全ての方々になるように、子どもさんに

は水泳教室、ご高齢の方には水の中で歩いてもらうミズノアクア教室、そういったものを開設しようと思っています。あと、空きの多い体育室ですとか、そういったものでヨガの教室ですとかエアロビクスを開催することによって、そういったところの施設の充実を図れるというふうに考えております。

○委員 アクセスに関しては何かありますか。

○委員 立地の不便さをどうやって補っていくのかというお考えがあるのか。

○こてはし温水プールコミュニティーズ 恐らく、こういうスポーツ施設は目的を持って来られる方が多いでございます。ですので、目的を持って来られる方については、ある程度交通手段を犠牲にしても来られる方が多いというふうに見受けられます。

あと、近隣の方の、私ども調べさせていただいておるところによりますと、やはり近隣の2キロ圏内でも65歳以上の方が大変多いでございます。歩いて来られる方も対象にそういったプログラムを考えております。

○委員 余り問題じゃなかったということですか。すみません。

○こてはし温水プールコミュニティーズ 特に私どもでは、交通のネックというところは、夏でも非常に人が来るところではございます。そういう方たちも目的を持って来られますので、そういったところについては特に、アクセスに関しては特に私どもは大丈夫だろうというふうに自信があります。

○委員 内容で勝負ですね。ありがとうございます。

○委員 よろしいでしょうか。ちょっと、私から何点か。今、内容で勝負というお話でしたけれども、自主事業なんかではあれですかね、ミズノスポーツさんのほうが中心となってくるとは思いますけど、当然競合他社がいらっしゃるわけですがけれども、ほかに負けないような自主事業で何か特筆すべきものがあれば教えていただきたいんですが。

あと、ミズノスポーツ塾というのがありますけど、これ36ページの1と2って書いてありますけど、これ内容、いずれも一緒に41ページに書いてある、跳び箱・マット運動・鉄棒の3種目の苦手種目を克服すると、そういう内容でよろしいですか。

○こてはし温水プールコミュニティーズ ミズノスポーツ塾は、運動が苦手な子たちを対象に、苦手克服の、跳び箱、鉄棒ですとかマット運動ですか。そういった、これはミズノだからこそできる塾だと思っています。あと、私どもの自主事業の特徴といたしましては、先ほど申し上げたとおり、介護予防のプログラムと、あともう一つはミズノアクア教室。これはですね、アメリカの水中運動に顕著な先生の運動メソッドを取り入れて、体に負荷のかからない運動をやっていくプログラム、これが私どもの非常に売りでございます。

○委員 あと、稼働率の問題についてなんですけれども、38ページ下のほうで、特に問題となるのは、多目的ホールとか研修室の稼働率なんですけど。ここで拝見すると、コマ割りを変えるということを書かれていますけど、これはコマ割り変えれば当然稼働率は見かけ上は上がるんですが、ところが利用者数は変わらないですよ。来る人が増えない限りは、コマを少なくして見かけの稼働率を高くしたところで、中身は変わっていないということになっちゃうんですよ。今まで10コマあったものを5コマにすれば、当然、何ていうんですか、見かけ上は利用率っていうのは倍になりますけれども、実際10人し

か来なければ利用者数は10のままですよね。その利用者数の増についてどうお考えかということをお聞かせ願いたいんですけど。

○こてはし温水プールコミュニティーズ　　まず、コマ割りのお話なんですけど、先ほど説明の中でも、今のコマの割り方が3時間1回だったり4時間1回というコマですね。それについて、例えば3時間10名しか利用しなかったものを、1時間を3回にすると、単純に言えば10名の会議が3回来れば30名ですし、1回しか来なければ同じ10名であるというものでございます。ただ、その空いた2回のところに、今の管理者さんでは1コマ3時間という単位で貸してしまっているんで、空き時間に自主事業を行うことも多分できない状況であると思うんですね。そこに自主事業を埋め込んだりすることによって利用者数が上がっていくという考え方でございます。

○委員　　そういうことなんですね。自主事業を埋めてということが書いてないんで。わかりました。ありがとうございます。

○部会長　　委員。

○委員　　44ページ、一番下の3、本社経費の計算方法について。本社経費は総収入の7%ということですね。

○こてはし温水プールコミュニティーズ　　はい。

○委員　　この7%の根拠を教えてください。

○こてはし温水プールコミュニティーズ　　7%につきましては、我々まちづくり公社、ミズノ、オーエンス独自で本社経費の割合というものがございます。たまたま我々まちづくり公社の経費につきましては、ほかに、ちょっと施設の状況とか違いますけど、公の指定管理やっている公園であり、スポーツ施設であり、その辺の管理費を平均しますと約7%であります。ミズノさんにつきましては、本社経費10%ということで、これは会社のほうの規定の中にございます。オーエンスさんについても同じように会社の中の規定でやや低いものがございますので、その平均ですね。それが7%になるということでございます。

○委員　　本社は何をしてくれるんですか。

○こてはし温水プールコミュニティーズ　　本社はですね、金額を、例えば私どもの従事するスタッフが、その支配人がそのスタッフたちの給料を計算するとか、給料を支給するとか、そういった本社でやる機能は全部、本部が担う。労働環境のそういったところの仕組みをつくるのもそうですし、教育研修を行うのもやはり本部が基本的にやりますので、そのある程度の本部の管制といったようなものをご計上させていただいています。

○委員　　わかりました。ありがとうございます。

○部会長　　よろしいでしょうか。

委員さん、何かありませんか。

○委員　　1点だけちょっと、プールの安全管理というのから、先ほど常時監視員を8名置くということで、それにしても、これちょっと、私の個人的な考えだと、ちょっと人件費が、年間の人件費がちょっと高いかなという感じがするんですけども、そのところはどうか。年間のこの人件費は、45ページに出ているこの1億3,472万6千円ですか。これずっといきますよね、5年間ね。だから、年間の人件費が多少この施設の割に

しては多少高いかなと、もちろん妥当だから出てきているんでしょうけど、その辺ちょっとどうかなという感じを受けましたので。

○こてはし温水プールコミュニティーズ　まず、先ほどおっしゃられた、やはりプールということで利用者の事故を未然に防がないといけないという意味では、非常に重い責任を持った、監視員というのは非常に重い責任を持った者だと思っていますので、それぞれの単価、例えば監視員についてはそんなに1人当たりの給与が高いものだとは我々は思っておりません。また、館長や副館長にいたしましても、これだけの施設を安全に滞りなく運営するという意味では、今までの経験やノウハウを培ったものを発揮する予定ですので、それについてもそんなに高いものをおいてないだろうというように我々としては考えております。

○委員　わかりました。

○委員　すみません、関連して、減縮の施策というのをご提案いただく必要があるんですけども、その点どうお考えなんでしょうかね。経費の減縮。

○こてはし温水プールコミュニティーズ　経費の縮減につきましては、まず、一番単純な面で言えば、エネルギーの縮減ですね。それは電力等について、になると思うんですけども、それについては売電の電力会社を私どものほうで変更して安い会社に変えるであるとか、日常の管理ですね。節電等に基づいて電力量を減らすという努力をしております。また、先ほどオーエンスのほうからもお話がありましたとおり、修繕につきましては、個々軽易な修繕ですね。劣化診断調査を行いながら、その都度軽易な修繕を行っていくことで、恐らくこの施設、老朽化しているということで修繕費が、莫大な修繕費が今の感じですとかかってくるようございまして、そのような大きな修繕を未然に防ぐという意味で、細かい修繕を適宜行いながら、大きな修繕の回避といいますか、行わなくて済むような努力をしております。

○部会長　はい。

ほかに何かご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(なし)

○部会長　ちょっと時間になりましたので、これで終了させていただきます。どうもありがとうございました。

[こてはし温水プールコミュニティーズ 退室]

○部会長　それでは、委員の皆様には、今のヒアリングを踏まえて採点してまいります。その前に何か確認しておきたいこと、ありますでしょうか。

○委員　委員のご質問に対しては、満足したお答えではない。

○委員　あれで広がらないから。私が言っている意味と説明が違っているから、国会答弁みたいになっちゃってるなど。

○委員　全て中身で勝負だと。

○委員　目的意識のある人は、単純に言えば、来いと。

○委員　そうですね、交通アクセスにしても別に、内容がいいから来るでしょうというような、何かそういったような。

- 委員 給料についても、ちゃんとキャリアがあるからと。
- 委員 だから、まあちゃんとやっていただけるんでしょうけど。
- 委員 給料の問題でも、私は高くないと言えばそれでいいわけだね。
- 委員 あと結局、節電と言っても、よくわかりません。具体的にLEDとかを設置するという具体策なく、言い方からすると、なかなか疑問だなという。
- 委員 これは、この表で言うതുですね、お金がかかり過ぎじゃないかというようなことは、実際、金額のところは数字入っていますが、それはもう少し減らせるんじゃないかみたいなのは、その上の段のところにつけるべき内容なんじゃないですか。
- 委員 まず、見積もりの妥当性として、設定値自体が高いんじゃないかということで、この5-1で。
- 委員 5-1ですね。
- 委員 5-1で関わるってことですよね。
- 委員 はい。だから設定値自体の妥当性と、その実現可能性としての妥当性、両方だとおります。
- 委員 両方入っています。
- 委員 だから、タイトな数字出してきて、ものすごい低い額だけど、そんなの実現できないでしょうということになれば、それは低い評価でもいいんじゃないでしょうか。
- 部会長 とりあえず3時半まで休憩ということで。

[採点・休憩]

- 部会長 それでは、議事を再開いたします。
- 事務局から、採点集計結果についてご報告をお願いします。
- 山根市民総務課長 それでは、集計結果をご報告いたします。お手元にお配りいたしました集計表をご覧ください。集計表の応募者ごとに合計をいたしまして、一番下の列が合計になっております。そのうちの合計点と平均点がそれぞれ記載してございます。
- まず、「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」ですが、合計点が513点で、平均点が102.6点でございます。
- 次に、「フクシ・ハリマ共同事業体」ですが、合計点は486点で、平均点は97.2点でございます。
- 次に、「シミズ・シンコー共同事業体」ですが、合計点が488点、平均点は97.6点でございます。
- 最後に、「こてはし温水プールコミュニティーズ」ですが、合計点が455点、平均点は91.0点でございます。
- なお、0点がついた項目はございませんでした。以上でございます。
- 部会長 ありがとうございます。
- ただいま事務局よりご報告いただきましたとおり、千葉県こてはし温水プールの指定管理予定候補者とすべき者の第1順位は「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」、第2順位は「シミズ・シンコー共同事業体」、第3順位は「フクシ・ハリマ共同事業体」とすることよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 次に、選定理由として、「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」の提案内容において、優れている点や工夫が見られる点など、具体的な意見をいただきたいと思います。選定理由として記載することになりますので、ご意見いただければと思います。

まず、総得点が一番高かったというのは事実なんですけれども、中身において何かご意見があれば。

委員さん、いかがでしょうか。

○委員 経費が安かったです。

○委員 そうですね。

○部会長 それについて具体的な提案があったという、そういうことでしょうかね。

○委員 経費の縮減率が高い割に、巡回バスを導入すると。そういう集客についても評価できる。

○部会長 稼働率向上のための具体策が示されていたということ。

委員、いかがでしょうか。

○委員 絶対に、提案書内にやるぞというような、ちょっとそういう結果が見えたので、良かったかなと思って。

○部会長 積極的な意欲が見えたとか、そういう感じで。

○委員 見えたということ。

○部会長 意欲的な取り組みが期待できるということですね。

○委員 お話の中で、市の施策について、従業員全員に研修で徹底してその方向でいくというふうにおっしゃっていたので、それをぜひやってもらいたい。

○部会長 そこを評価する。今後期待すること。

○委員 今後期待することでした。すみません。

○部会長 附帯意見として今おっしゃられたことを、今後、市と協調的に施策を実施されたいとか、そういうことでよろしいでしょうかね。

○委員 すみません、先走り。

○部会長 ほかに附帯意見でも選定理由でもどちらでも結構ですが。

○委員 施設の点検をしてから何か補修工事をするという、老朽化に対する対策をしっかり考えていた。

○部会長 そういうことを評価すべきということでしょうかね。

ほか、ございますか。委員さん、何か。

○委員 いや、それぐらい。

○部会長 あと、今後の指定に際しての意見、注文等がほかにあれば。

○委員 プール、研修室、更衣室の稼働率を上げるように努力されるということをお願いしたい。

○部会長 そうですね。そういうことを期待しまして。

ほかによろしいでしょうか。

では、事務局で取りまとめていただいて。

[取りまとめ]

○部会長 再開します。

選定理由としましては、皆様のご意見、あるいは採点表を確認しますと、まず、「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」が総得点で最も勝ったということ。特に、巡回バスの運行など、稼働率向上のための具体策の提案が優れていた。施設の老朽化への対策を具体的に検討していた点について評価できるなどでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 また、附帯意見としましては、市の施策をより理解し、市と協調的に管理運営を図られたいということ。諸室の稼働率の向上に努められたいという意見が委員の皆様からありました。

これを踏まえて、私と事務局にて調整して意見をまとめていくということでご一任いただければと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

○部会長 それでは、千葉市こてはし温水プールの指定管理予定候補者とすべき者を、「元気・ふれあい・夢づくりパートナーズ」とします。

以上で審査を終わります。

次の議題に移りますが、次に議題2の「今後の予定について」に入ります。

事務局よりご説明をお願いします。

○山根市民総務課長 それでは、今後の予定についてご説明をさせていただきます。

お手元の水色の会議資料ファイルの中へお戻りいただきます。その資料の5でございます。前回もご説明をいたしましたけれども、本日の結果報告につきましては、部会長さんから委員会の会長さんにご報告していただき、その後、会長さんから市長宛てに委員会としての答申をしていただきます。この答申を受けまして、市が指定管理予定候補者を最終的に決定することとなります。その後は、全ての応募者へ選定結果を通知し、指定管理予定候補者と仮協定を締結いたしまして、12月に開催予定の平成27年第4回千葉市議会定例会に指定管理者の指定議案を提出、そして、議決をいただきましたら、基本協定書を締結して、28年の4月から新たな指定期間における指定管理開始となります。手順は以上のとおりです。

なお、本日の会議の議事録につきましては、後日委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。以上でございます。

○部会長 ありがとうございます。

ただいまの事務局からのご説明について、何か質問ございますでしょうか。

(なし)

○部会長 最後に、議題の3番「その他」ですが、委員の皆様から何かご意見等はございますか。特によろしいですかね。

(なし)

○部会長 それでは、皆様のご協力によりまして、本日の議事は全て終了いたしました。ありがとうございました。

事務局にお返しいたします。

○佐久間市民総務課長補佐　それでは、以上をもちまして、平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第6回スポーツ部会を閉会させていただきます。

長時間にわたりまして、本当にありがとうございました。